

総合計画審議会委員からの意見
に対する市の対応方針（案）

総合計画審議会委員からの意見に対する市の対応方針(案)

No.	発言方法	該当項目	委員名	該当箇所	該当箇所 (詳細)	委員意見	市の考え方・対応方針(案)	担当所管	分類	内部評価 を修正	総計審意見	反映ページとした理由
1	事前	まちづくりの目標	出石	3目標の全体	-	総合計画スタート年次であり、なおかつコロナ禍直後であることを勘案するとともに、評価の仕方も試行という意味合いもある中では、まずまちづくりの目標の端緒として妥当と言える。なお、KPIについては、「No.189、190」に記した意見のとおりである。	今後も社会情勢の変化に的確に対応しつつ、計画を推進していきます。	企画政策課	意見	×	○	P1
2	事前・第1回	まちづくりの目標	奥	3目標の全体	-	総括評価の書き方として、R4年度における取組とその成果、今後の方向性と課題といった順で整理して記述したほうが良い。やったこと、これからやること、現在進行形のこと、評価、課題が順不同に記載されている印象で、PDCAを意識した記述になっていない。	総括評価の記載方法についてご指摘のとおり修正します。	企画政策課	意見	○	○	P1
3	事前・第1回	まちづくりの目標	平井	生活の質の向上	-	No.1の小田原に住み続けたいと思う人の割合の総括評価について、地域医療や子どもに関する政策が記載されているが、意識調査で「いずれ転居したい」「転居したい」の合計は20代の約24%、30代の約20%、40代以上はおおむね約8%程度になっている。20～30代の転居したいという理由は、20代では不便さが5割、交通利便性が4割、娯楽や余暇の少なさが5割、30代では子育て支援の不十分さが1/3、交通利便性が3割などとなっており、そうすると、地域医療や子どもよりも、まず交通利便性に言及し、そのうえで娯楽や余暇、子育て支援の不十分さを念頭においた政策を評価すべきではないか。	まちづくりの目標における総括評価については、全体の取組に加え、掲げているKPIである「小田原に住み続けたいと思う人の割合」の達成に向けた現状や、今後の取組方針などにも触れ、まちづくりの目標との関係性についても整理した文章とします。	企画政策課	意見	○	×	既に対応済のため
4	事前	まちづくりの目標	信時	生活の質の向上	-	住み続けるには社会サービスと経済的好立地と教育が必要。総括評価の中でも考慮すべき。年齢による違いもあると思われるのでその認識も持ちたい。	まちづくりの目標における総括評価については、全体の取組に加え、掲げているKPIである「小田原に住み続けたいと思う人の割合」の達成に向けた現状や、今後の取組方針などにも触れ、まちづくりの目標との関係性についても整理した文章とします。	企画政策課	意見	○	×	既に対応済のため
5	事前	まちづくりの目標	木村	生活の質の向上	-	全体的にコロナ対応から5類相当に移行した社会生活の中で、どのような施策を執行していくのか、社会情勢に的確に対応したスピード感のある対応をお願いしたい。特に生活の質の向上(小田原に住み続けたいと思う人の割合)のKPIを目標値に近づけるための方策は重要であり、定住、住人口増へつながると考える。	今後も社会情勢の変化に的確に対応しつつ、計画を推進していきます。	企画政策課	意見	×	○	P1
6	事前	まちづくりの目標	鈴木	生活の質の向上	-	確かにコロナ禍の中では小田原市は大きな医療崩壊にはならず、多くの医療関係者の苦労には感謝している。小田原に住み続けたいと思う人の割合が多いことは喜ばしい。	-	企画政策課	感想・謝意など	-	×	感想・謝意などであるため
7	事前・第1回	まちづくりの目標	有賀	生活の質の向上	-	生活の質の向上の上段、目指す姿として、福祉と地域医療の充実の次に、「過ごしやすく快適に移動ができ、緑や水辺が豊かでうるおいのある魅力的な都市空間を創造し」と書かれている。No.1の総括評価について、前半の「地域医療連携を進めています。」の次に上記の「過ごしやすく快適に移動ができ、緑や水辺が豊かでうるおいのある魅力的な都市空間を創造し」を視点とした評価記述が欲しいと感じる。生涯にわたって幸せと安心感を得られるまちを目指すためには地域医療連携の推進のみならず、後半の「」の箇所を意識する必要があると思われる。目標である「小田原に住み続けたいと思う人」の理由は、正にこの部分であると考えている。	まちづくりの目標における総括評価については、全体の取組に加え、掲げているKPIである「小田原に住み続けたいと思う人の割合」の達成に向けた現状や、今後の取組方針などにも触れ、まちづくりの目標との関係性についても整理した文章とします。	企画政策課	意見	○	×	既に対応済のため
8	事前	まちづくりの目標	信時	地域経済の好循環	-	税金がこれ以上高くなるのは避けたいが、所得向上と、観光客の増加の連動をチェックしたい。	「地域経済の好循環」の達成に向け、実施した取組のほか、掲げているKPIである「一人当たり課税対象所得」「観光客消費額」についても現状分析を実施し、今後の取組方針についても触れる文章とします。	企画政策課	意見	○	×	既に対応済のため

総合計画審議会委員からの意見に対する市の対応方針(案)

No.	発言方法	該当項目	委員名	該当箇所	該当箇所 (詳細)	委員意見	市の考え方・対応方針(案)	担当所管	分類	内部評価 を修正	総計審意見	反映ページ/とした理由
9	事前	まちづくりの目標	佐藤	地域経済の好循環	-	「一人当たり課税対象所得」について、すでにR12年度の目標値に達しているため、現状維持バイアスより高い数値目標を掲げる方が良いと思う。「国内外から人や企業を呼び込み、生活の場として選ばれるまち」に対する目標は誘致企業数や移住者数を示す方が合致すると思う。もしくは赤字の部分を変更するなど。	「一人当たり課税対象所得」については、その時々々の社会情勢などに左右され、単年度の数値のみで判断することは難しいため、現時点で目標を上方修正することは考えていません。なお、目標を誘致した企業数や移住者数とするなどについては、第2期実行計画策定時の参考とします。赤字部分については、計画の基本構想であるので変更は考えていません。	企画政策課	意見	×	×	KPI・目標に関するものため
10	事前	まちづくりの目標	信時	豊かな環境の継承	-	二酸化炭素削減が如何に経済に影響を及ぼすのか、の認識も必要。	総括評価においては直接的な記載はありませんが、二酸化炭素削減が経済に及ぼす影響についても考慮したうえで、各取組を実施しています。	企画政策課	意見	×	×	既に対応済のため
11	事前	まちづくりの目標	奥	豊かな環境の継承	-	「豊かな環境の継承」というまちづくりの目標の柱としては「自然環境と市民が共生できるまち」と「気候変動にも対応した持続可能なまち」のふたつがあり、総括評価のなかでおそらく後者に関連して、協定締結、ハザードマップの一元化、総合防災訓練の実施がなされた旨の記述がある。これらは災害時の備えとして記述されているのだと思うが、ここではグリーンインフラのような適応策でもあり同時に環境の保全・継承にもつながる取組について記述することが求められるのではないか。	総括評価の記載方法について、ご指摘を踏まえて修正します。	企画政策課	意見	○	○	P1
12	事前	重点施策	平井	重点施策の全体	-	まちづくりの目標と詳細施策では「総合評価」があるので、重点施策にも「総合評価」を行った方がいい。	重点施策については、7分野ごとに取組方針や2030年の目標を示しておらず、具体のアクションをもって構成しています。また、重点施策の評価方法については、重点施策の目標が2030年を目指したものであり、実績値が毎年度把握できないものがあることから、KPIに対する評価でなく、当該年度に実施した具体的な取組内容をもってその進捗を報告すると昨年度の総合計画審議会において提示させていただきました。	企画政策課	意見	-	×	様式等の変更が必要であるため
13	事前	重点施策	平井	重点施策の全体	-	備考欄に根拠資料を挙げた方がよい。	KPIの根拠資料について、その公表方法を検討します。	企画政策課	意見	○	×	既に対応済のため
14	事前	重点施策	信時	重点1	(1)	新病院の具体的機能の明確化と不足する機能への対応。地域の診療所との病・診連携の重要性。医・福の連携を密にする必要性。予防医学の大切さと前向きな健康づくりとまちづくりの連携を。	新病院の基本的機能と役割は現在と同じですが、病診連携をはじめ各種機能の充実を図っていきます。不足する機能への対応として、口腔外科の新設、ヘリポートの新設、化学療法室の増床(9→16)、手術室の増室(8→10)、手術支援ロボットの導入、アンギオの増(2→3)などがあります。また、医療機関、福祉・介護施設、行政は、急性期や回復期・慢性期の病院に加え、在宅医療を担う診療所までの切れ目ない連携の構築に取り組むことや、疾病予防・介護予防まで含めた病病連携、病診連携をより一層進めることとしています。	経営管理課、健康づくり課	意見	×	○	P2
15	事前	重点施策	木村	重点1	(1)-③	新病院建設に向けて市民の立場から駐車場の利用について設計における駐車台数の確保だけでなく、患者利用の場合、駐車料金免除や 家族見舞いの減免措置などについて配慮のある制度設計をしていただきたい。	令和2年4月1日から行政財産貸付の手法で現病院駐車場の有料化を行いました。利用料金の区分に患者利用やお見舞いの場合のほか特別な場合を設け、事業者選定を行いました。新病院においても患者や家族、障がい者に配慮した利用料金の設定を行っていきます。	経営管理課	要望・提案など	×	×	要望・提案などがあるため
16	事前	重点施策	益田	重点1	(2)	地域福祉相談員の存在の認識を市民に広げていくことが必要。各地域のサロン活動については、コロナの間に年齢層が高くなっており、負担感が否めないと感じる。	地域福祉相談支援員は、受け身で相談を待つのではなく、地域に向き各地域で行われている福祉的な活動へのサポートなどの後方支援とそうした活動を通じて把握した課題を抱える家庭等と信頼関係を築いた上で、専門的な支援機関や地域活動団体等へつなぐ役割を担います。こうしたことから、民生委員など地域のキーパーソンとなる方々に地域福祉相談支援員の活動を周知しています。	福祉政策課	意見	×	○	P2

総合計画審議会委員からの意見に対する市の対応方針(案)

No.	発言方法	該当項目	委員名	該当箇所	該当箇所 (詳細)	委員意見	市の考え方・対応方針(案)	担当所管	分類	内部評価 を修正	総計審意見	反映ページ/×とした理由
17	事前	重点施策	鈴木	重点1	(2)	地域包括支援センターは今では地域にとってなくてはならない存在。是非、地域福祉相談支援員を増やし適切なサービスを受けられるよう切に希望する。平均寿命より健康寿命の大切さを痛感する。	地域福祉相談支援員は、受け身で相談を待つのではなく、地域に向き各地域で行われている福祉的な活動へのサポートなどの後方支援とそうした活動を通じて把握した課題を抱える家庭等と信頼関係を築いた上で、専門的な支援機関や地域活動団体等へつなぐ役割を担います。こうしたことから、民生委員など地域のキーパーソンとなる方々に地域福祉相談支援員の活動を周知しています。支援対象が高齢者であれば、地域包括支援センターとも連携して活動します。	福祉政策課	要望・提案など	×	×	要望・提案などであるため
18	事前	重点施策	出石	重点1	(2)	民生委員の充足状況はどうなっているか。民生委員の活動状況についてはどう評価しているか。	現在は、定数344人中、民生委員10名、主任児童委員2名が欠員となっており、充足率は96.5%となっています。民生委員の活動状況については、各地区より毎月の活動報告等を提出いただき、相談の件数などを把握しています。なお、各委員の活動の評価はしていませんが、毎月実施している理事会等で各地域の状況をトータル的に把握しております。	福祉政策課	質問	-	×	質問であるため
19	事前	重点施策	荒井	重点1	(3)	「健康寿命の延伸」の取組において、 県の未病の取組と連携して、様々な事業を行っており、引き続き連携して取組を進めていただきたい。	本市では、県認証の未病センターである「すこやか健康コーナーおだわら」を市役所2階に設置しており、市民が自ら血圧や血管年齢などの健康チェックができ、相談日には、保健師及び管理栄養士による健康相談が受けられるほか、県や市の未病改善に関する最新の情報が収集できる場となっています。また、「かながわ未病改善宣言」の趣旨に賛同する企業や団体のノウハウや人材を活用し、市民の健康づくりのきっかけになるよう未病改善教室を開催して、本市の健康課題である高血圧対策を引き続き推進します。	健康づくり課	意見	×	○	P2
20	事前	重点施策	出石	重点1	(3)	健康寿命はどのように計っているのか。平均寿命の対比を示してはどうか。	健康寿命の算出については、健康寿命の算出方法の指針(平成24年度厚生労働科学研究費補助金による健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究班)により、「日常生活動作が自立している期間の平均」として算出しています。平均寿命との対比については、総合計画の個別計画である「第2期小田原市健康増進計画(令和5年度～令和9年度)」において示しています。	健康づくり課	質問	-	×	質問であるため
21	事前	重点施策	奥	重点1	(3)	R4年度の実績値が入っていない理由として、備考欄において、県によって現時点では公表されていないとか、H30年度の値が最新値であるとの説明があるが、そもそもR4年度の実績値が入手/把握可能なものなのか、今後もタイムラグのある値しか入手し得ないのかなど、明確にしておく必要がある。	二次救急医療の圏域内自己完結率は、平成30年度の県主催の会議資料で提示された数値であり、今後県が公表する数値が大きくタイムラグのある状態が続くようであれば、目標設定の再考も必要と考えています。健康寿命の計算については、厚生労働省「健康寿命の算出プログラム」により算出しており、人口、死亡数、第1号被保険者数、要介護認定者数を用いて算出するため、各統計が揃っていること及び計画の評価時などに算出していることから、最新では、平成30年となっています。今後は、令和7年度に第2期実行計画が開始することや、第2期小田原市健康増進計画の中間となることから、その時点で最新の健康寿命を算出したいと考えています。	健康づくり課	意見	○	×	既に対応済のため
22	書面	重点施策	丸山	重点1	(3)-①	「新たな健康増進拠点の機能について専門職との場を設け」とありますが、考え方のギャップ等はあると思いますが、専門職への負担はあるかと思いますが、会合の場を増やしてより良い計画を望みます。	新たな健康増進拠点の機能検討にあつては、健康に関する専門職をはじめとし、多様な主体からの声を聞き、誰もが活用できるようなものにしていくことが重要と認識しています。現在取り組んでいる基本構想の策定においても、対面での全体会議に限らず、個別の相談やウェブ会議などの手法を駆使して機会の確保を図りながら、その声を活かせるよう努めてまいります。	健康づくり課	要望・提案など	×	×	要望・提案などであるため

総合計画審議会委員からの意見に対する市の対応方針(案)

No.	発言方法	該当項目	委員名	該当箇所	該当箇所 (詳細)	委員意見	市の考え方・対応方針(案)	担当所管	分類	内部評価 を修正	総計審意見	反映ページ/とした理由
23	事前	重点施策	奥	重点2	-	「災害時に適切な情報が多様な手段により届いていると回答した割合」が令和4年度で98.9%と高い値を示しているのに対して、もう一つの指標である「訓練等を通じて、防災意識が向上したと回答した割合」はR4年度で47.4%と低い値にとどまっている。マンネリ化しない実践的な防災訓練を実施するとともに、防災に係る啓発を行ってもなお、R4年度実績がこの数値にとどまっている要因をどのように分析し、いかなる改善が考えられるのかの言及が欲しい。	防災対策には、大きく分けると地震災害と風水害の2つがあり、また、それぞれに自助と共助と公助があるため、数時間の防災訓練だけでは、その全てを実施することは時間的に難しいと考えています。また、市民の方への防災に関する啓発については、その一部をハザードマップにも掲載していますが、配布しただけでは、なかなか浸透していないのが現状であると思われます。また、自主防災組織において、地区防災計画の作成を進めるにあたり、有効な避難や備蓄など、各個人が進めるべき防災対策を周知したいとのご意見もあったことから、市としても考え方を整理し、優先順位を付けながら、市民一人ひとりの初動における防災意識が向上するよう、防災訓練において、この考え方を基にした安否確認や初期消火が行えるようなチラシの作成を支援していきます。また、防災訓練については、新たに導入した防災資機材や整備した防災設備を、取扱訓練という形で訓練のメニューとして広域避難所運営委員会に提示し、取り入れていただくことで、訓練がマンネリ化しないように努めていきます。	防災対策課	意見	○	×	様式等の変更が必要であるため
24	事前	重点施策	別所	重点2	(1)	防災については必要な情報が全ての人に届いている状態が求められるので、目標を調査結果におく場合には、サンプルに偏りがないかどうか抽出方法と回答率も参考情報として記載いただきたい。	令和5年度市民意識調査報告書より数値を得ており、調査は住民基本台帳に記載されている18歳以上の市民3,000名(無作為抽出)を対象に実施しています。調査概要の詳細は、第1回会議における【参考資料】1、2ページをご確認ください。	企画政策課	意見	○	×	様式等の変更が必要であるため
25	事前	重点施策	出石	重点2	(1)	災害時において地域防災計画が絵に描いた餅にならないようにどのような取組を行っているか。	訓練を通じて課題の洗い出しを行い、その課題を解消しながら、災害対策本部体制の見直しを行うなど、実災害に即した取組を実施しています。	防災対策課	質問	-	×	質問であるため
26	事前	重点施策	平井	重点2	(1)-③	「防災行政無線が聞き取りにくいという課題を解消しました」とは言いすぎではないか。防災行政無線が聞き取りにくい人全員がスマホアプリをダウンロードして防災行政無線が聞こえなくてもよいということを確認したのか。	音声による伝達方法を文字情報で伝達する方法に変更することで、より確実に情報伝達を行うことができるため、様々な伝達手段の中から、自分にあった手段を選択していただくことで、課題を解消していると考えています。	防災対策課	質問	-	×	質問であるため
27	事前	重点施策	別所	重点2	(1)-③	防災アプリについては小田原市民のダウンロード数とMUB(Monthly Unique Browsers)数も記載いただきたい。	現在のアプリでは登録者の居住地について市内・市外を区別して集計することがシステム上できないため、今後検討していきます。	防災対策課	意見	×	○	P6
28	事前	重点施策	出石	重点2	(1)-③	「おだわら防災ナビ」について、高齢者などデジタルデバイスに対してどのような対策を行っているか。	要望のあった単位自治会の集まりの場や健診や講演会などの市民の集まりの場に出向き、ダウンロードの支援や活用方法について説明するなど対策を行っています。	防災対策課	質問	-	×	質問であるため
29	事前	重点施策	益田	重点2	(1)-③	「おだわら防災ナビ」の認知度はまだ低い。防災ナビの各地域版はできないか。横浜市では、地域の回覧や行事出席者の把握、災害時の救助情報取得などができるアプリを使っている地域もある。	今後活用の拡大については、住民の要望などを聞きながら検討していきます。	防災対策課	質問	-	×	質問であるため
30	事前	重点施策	信時	重点2	(2)	高齢者・子供、移動の困難な人たちを如何に避難誘導できるのか。情報伝達(アナログの重要性)の整備と日々の訓練体制の連携。自治会町内会の重要性を鑑みて、キープしていく事が大切。海からの救援、補給も視野にいれるべし。	要配慮者の避難については、福祉健康部と連携して検討を進めていくとともに、情報伝達や訓練との連携は引き続き継続していきます。海からの救援に関しては、自衛隊等と連携していきたいと考えています。	防災対策課	意見	×	○	P6
31	事前	重点施策	佐藤	重点2	(2)	目標「防災訓練や防災知識の普及を通じて、災害時のリスクや対応を学び、逃げ遅れゼロを実現する」に対して、「訓練等を通じて、防災意識が向上したと回答した割合」だと、質が向上しているのはわかるが、そもそも何人がどれくらいの頻度で訓練をしているのか不明瞭。	いっせい総合防災訓練の参加者は、令和4年度は、4,535人と、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、自治会によっては、人数を制限してしまっています。また、単位自治会の防災訓練に至っては、新型コロナウイルス感染症拡大の観点から、令和2年度から4年度までは、消防経由では訓練は実施されていません。なお、令和4年度の防災教室は、43回実施し、延べ2,128人が参加しています。	防災対策課	質問	×	×	質問であるため

総合計画審議会委員からの意見に対する市の対応方針(案)

No.	発言方法	該当項目	委員名	該当箇所	該当箇所 (詳細)	委員意見	市の考え方・対応方針(案)	担当所管	分類	内部評価 を修正	総計審意見	反映ページ/×とした理由
32	事前	重点施策	鈴木	重点2	(2)	防災・減災は住民の生命にかかわることだし、いつ起こるか分からないことに対するアクションは難しいことだが、官民一体となって一つひとつやっていくほかないだろう。地域でもこの問題は自治会が主体となってやっている。	商工会議所等とも連携して災害対策を検討していますが、今後さらに住民・事業者・行政が協力して取組を進めていきます。	防災対策課	意見	×	○	P6
33	事前	重点施策	出石	重点2	(2)	東日本大震災の際の「釜石の悲劇」とならないよう、適切かつ有効な防災訓練の実施が肝要である。	地域の災害特性に合わせた訓練となるよう検討していきます。	防災対策課	意見	×	○	P6
34	書面	重点施策	丸山	重点2	(2)	近年、自然災害が増加傾向であります。ソフト面ではハザードマップ等整備されていきなりやすくなりましたが、実際の避難訓練の実施が必要ではないかと感じています。自治会との連携をより深めて進めてもらえると良いかと思えます。(東日本でも日頃の訓練がされていた地域が被害が少ないとも言われています)	東日本大震災では、過去にも津波が来ていたことがあるのに、逃げる体制が確立されていない地域で被害が大きくなりました。本市のいっせい総合防災訓練では、津波に関する内容を含めて、各地区で訓練内容を検討して決めていただいております。昨年度は早川地区で津波避難訓練を実施しています。ハザードマップは、津波以外にも、洪水・土砂災害や高潮などもあることから、適切な行動がとれるよう、地域住民や自治会に対して、防災訓練や防災教室等を通じて、防災意識の高揚を図っていきます。なお、本市では、関東大震災においても津波被害は、根府川地区周辺の山津波以外は報告されず、相模湾の地理的形狀から鎌倉等の東側で起きるメカニズムとなっています。また、東日本大震災後に、本市でハザードマップを作成するにあたっては、発生間隔が2千年から3千年あるいはそれ以上の相模トラフ沿いの海溝型地震(西側モデル)マグニチュード8.7(最大震度7)を採用し、西湘バイパス付近に到達することを確認しています。	防災対策課	意見	×	○	P6
35	事前	重点施策	木村	重点2	(2)-①	市内各地区、毎年同じ立場の方が参加していて一般市民への参加に至っていない状況である。市内いっせい防災訓練日を設けて一世帯1人の参加に呼びかけるとか、参加した後、防災グッズを支給するとか工夫をして全市民的に防災意識を高め、いざという時の備えになる訓練にしてほしい。	いっせい総合防災訓練について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、縮小していましたが、新型コロナウイルス感染症が5類になったことで、各自治会でも訓練の内容や参加の呼びかけを検討しています。今後一人でも多くの方が参加できるよう検討していきます。また、有効な避難や備蓄など、市民一人ひとりの初動における防災意識が向上し、能動的に防災訓練に参加するような仕組みを取りながら、有効期限を迎えるような市の備蓄食料等については、参加者に配布できるように検討していきます。	防災対策課	要望・提案など	×	○	P6
36	事前	重点施策	信時	重点3	(1)	夢を持ってよく言うが、何が夢なのかの認識と、それを発出した際に否定しない教育者の在り方を問う。地域を良く知る教育の重要性。鮭的人材を、という事であればなおさらこの視点が必要。これは逆に国際性にも結び付く。	児童生徒が自分の「夢」について意識化することを手助けすること、個々の児童生徒の個性・特性を捉え、それを伸ばしていくことは教員の重要な役割と考えますので、教員研修などの場を通じて、その資質・能力の向上を図っていきます。	教育指導課	要望・提案など	×	×	要望・提案などであるため
37	事前	重点施策	秋元	重点3	(1)	将来夢を持つ児童生徒の割合が、小学生も中学生もR4年は下降傾向。その理由がなぜか。また具体的なアクションが掲げる目標に対して有効なのか。	目標値は、文部科学省の全国学力・学習状況調査の調査項目から選定したものです。設問への回答理由まで問うものではないため、調査結果からは数値が下降した理由はわかりません。令和4年度の調査は、令和4年5月に実施されましたが、児童生徒は令和3年度の状況に基づき回答したものと想定されます。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響下であり、様々な学校や地域での活動が制限を受け、児童生徒がその活動の中からときめきを感じる場面が少なく、感染症下の生活における対応が主となり、夢を感じる余裕が生じにくかったことが、数値が下降した要因と推測します。また、個々の具体的なアクションは、それぞれが推進されることにより、児童生徒の考える力や将来に向けて情報技術を使いこなす力、児童生徒の能力を伸ばしていくため環境の整備等、様々な方向から児童生徒の「夢」や「夢の実現」を支えるものであることから、目標の実現に有効なものと考えます。	教育指導課	質問	-	×	質問であるため

総合計画審議会委員からの意見に対する市の対応方針(案)

No.	発言方法	該当項目	委員名	該当箇所	該当箇所 (詳細)	委員意見	市の考え方・対応方針(案)	担当所管	分類	内部評価 を修正	総計審意見	反映ページ/×とした理由
38	事前	重点施策	奥	重点3	(1)	将来の夢を持つ児童生徒の割合が小中学生ともに、基準年よりもR4年度実績値が低下してしまっている要因をどのように分析しているのかを明らかにすべき。	目標値は、文部科学省の全国学力・学習状況調査の調査項目から選定したものです。設問への回答理由まで問うものではないため、調査結果からは数値が下降した理由はわかりません。令和4年度の調査は、令和4年5月に実施されましたが、児童生徒は令和3年度の状況に基づき回答したものと想定されます。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響下にあり、様々な学校や地域での活動が制限を受け、児童生徒がその活動の中からときめきを感じる場面が少なく、感染症下の生活における対応が主となり、夢を感じる余裕が生じにくかったことが、数値が下降した要因と推測します。	教育指導課	意見	×	×	様式等の変更が必要であるため
39	事前	重点施策	出石	重点3	(1)	少子化に伴う短学級や複式学級による児童生徒の教育環境の悪化の傾向はないか。将来の夢を持つ児童生徒の割合をKPIにしているが、特に発達途上の児童の割合は有意と言えるか。どのように児童に尋ねているのか。	児童生徒数の多寡が、即、悪影響に結びつくのではなく、良い点も悪い点も生じうると考えます。大事なことは、その人数の中でその良さが現れるように教育活動を行っていくことであり、現場の教員は日々、努力を重ねています。また、「夢」は児童が生き生きと自らを伸ばしていこうとする原動力になるものと考えますので、発達段階に応じ児童が抱く夢を大事にしていきたいと考えます。なお、設問は、問いに對して、「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまらない」及び「当てはまらない」の選択肢から選択する形式です。	教育指導課	質問	-	×	質問であるため
40	事前	重点施策	木村	重点3	(1)	将来の夢を持つ子の割合をKPIとしているが、小田原版STEAM教育と関連付けて、小中学校の総合的な学習の時間を活用して、住みよい小田原市の環境や食などテーマを決めて実践を企業、NPO、行政とコラボするなどして形にしていこうとする取組をすることにより表現力、想像力が生まれ達成感、夢へと繋がるので全校での取組を期待する。	小田原版STEAM教育は、郷土小田原をフィールドに児童生徒が身近な課題と出会い、その解決のため、教科横断的な見方・考え方を働かせ、探求・創造活動を行い、より良い社会を実現する資質・能力を育成する目的で実施するものです。ご提案の趣旨を踏まえて、今後の取組に生かしていきます。	教育指導課	要望・提案など	×	×	要望・提案などであるため
41	事前	重点施策	鈴木	重点3	(1)	子どもが減少している時代の方が子どもへの心身の発達への影響は問題も多くあると思う。またICT活用教育では先生方の指導の大変さもうかがえる。この教育には専門的な方の支援が必要ではないか。	少子化時代の方が子どもの心身の発達への問題が多いについては、明確な根拠を持ち合わせておらず、また、子どもの心身の発達に与える影響は少子化以外にもあると思われますが、子どもが少ない分、大人の目が子どもに集中しやすく、場合によっては子どもへのプレッシャーが大きくなることもあり得るのではないかと推測します。また、ICT活用教育の推進に当たっては、教員を対象とし各種研修を実施しているほか、ICTに関する専門的な知識・技能を持つ「ICT支援員」を各校に派遣するなど、教員の支援に努めているところです。今後も、教員の負担を軽減しつつ、質の高いICT活用教育を推進できるよう、支援に努めてまいります。	教育指導課	意見	×	○	P10
42	事前	重点施策	有賀	重点3	(1)-①	取組内容に「第4期小田原市教育振興基本計画」とあるが、その策定にあたり計画の位置づけとして小田原教育大綱と「おだわらっ子の約束」を理念として策定すると書かれている。基本施策にもおだわらっ子の約束の普及と実践と明記されているが、その認知度の基準値は令和5年度調査とあり、目標値は認知度向上とだけになっており、指標がはっきりしない。「おだわらっ子の約束」を理念とするのであれば、この小田原ならではの約束の普及を積極的に図り、実践する態度を育む具体的な取組を推進してほしいと思われる。	おだわらっ子の約束については、日常生活の中で活用していたために周知用のパンフレットを新1年生に対して配布しているほか、学校生活の中においても指導に取り入れています。また、各小中学校、幼稚園等へ看板を設置し、その普及に努めてきましたが、看板の経年劣化も見られ始めていることから、第2期教育大綱と第4期教育振興基本計画の策定の機を捉えて、順次修繕を進めていく予定です。	教育総務課	意見	×	×	総合計画評価に関する内容でないため
43	事前	重点施策	出石	重点3	(1)-③	小中学校の適正配置について、市はどのように対応しているか。	「新しい学校づくり推進事業」の中で地域単位の配置計画について検討する予定です。	教育総務課	質問	-	×	質問であるため

総合計画審議会委員からの意見に対する市の対応方針(案)

No.	発言方法	該当項目	委員名	該当箇所	該当箇所 (詳細)	委員意見	市の考え方・対応方針(案)	担当所管	分類	内部評価 を修正	総計審意見	反映ページ/とした理由
44	事前	重点施策	奥	重点3	(1)-③	取組内容として、施設整備の記述があるが、こうしたハード的な整備をも包含するものとして「新しい学校づくり」という概念を用いているのか疑問がある。	「新しい学校づくり推進事業」は、「10年後の新しい学校」についてハード・ソフト両面から方向性を定めていく事業です。市内小中学校は、築40年を経過したものが7割以上を占めており、再整備を検討する必要があることから、新しい学校づくり推進基本方針」を策定後、学校施設の機能水準や諸室配置等を定める「新しい学校づくり施設整備指針」を策定するものです。	教育総務課	質問	×	×	質問であるため
45	事前	重点施策	益田	重点3	(1)-③	水道代などのランニングコストや児童生徒の水泳技術向上などを考えると、民間スイミングクラブの活用は大変有効と考える。	民間スイミングスクールでの水泳授業は、実施校でも大変好評であることから、今後も拡大していきたいと考えています。	教育総務課	意見	×	○	P10
46	書面	重点施策	丸山	重点3	(1)-③	何を持って新しい学校作りかがわかりづらい。環境整備なのか？勉強スタイルなのか？現状の改善・改修なのか。それとも新たな仕組みのある学校環境を構築するのか。	「新しい学校づくり推進事業」は、「10年後の新しい学校」についてハード・ソフト両面から方向性を定めていく事業で、学校施設の老朽化により再整備を検討する時期であることが背景にあります。環境整備（ハード）を行う際の前提条件として、今後の学校教育のあり方や学校運営の仕組み等を構築する必要があることから、10年後の新しい学校のイメージとして「新しい学校づくり推進基本方針」を策定し、その後、地域単位の学校配置の将来像をまとめる「新しい学校づくり推進基本計画」と、学校施設の機能水準や諸室配置等を定める「新しい学校づくり施設整備指針」を策定することを想定しています。	教育総務課	質問	×	×	質問であるため
47	事前	重点施策	益田	重点3	(2)-①	切れ目のない子育て支援については、学校教育との連携が重要になると考える。	ご指摘のとおりと考えており、子育てを社会で支える環境づくりを進めるに当たっては、行政、学校、地域住民、地域活動団体及び事業者が、より一層の連携を図り、取り組んでいきます。	子育て政策課	意見	×	○	P10
48	事前	重点施策	出石	重点3	(2)-②	(仮称)家庭教育支援条例を制定する場合、単なる理念条例ではなく、実効性のある条例とするよう検討されたい。	こども家庭庁の動向やこども基本法に基づく「こども大綱」の策定状況を注視しながら、家庭教育支援を推進するために、条例の必要性も含めて最も実効性のある手段について検討していきたいと考えています。	生涯学習課	意見	×	○	P10
49	事前	重点施策	木村	重点3	(2)-③	子どもの交通安全通学路点検結果から、危険箇所の改善はどのようになっているかが記載がないので、対策をしっかりと取り組み、実効性のあるものにする必要がある。	通学路の交通安全対策については、主に小学校単位で設置されている「交通安全対策協議会」において危険箇所の点検を行い、対策要望が提出されています。令和4年度においては、121件の要望に対し80件について対策が完了しています（実施中を含む。件数は集計中）。また、横断歩道や信号機の設置、速度規制など道路の構造上実施不可であるほか、地域の合意形成が必要であるなど他機関との調整の結果、対応できなかった箇所もあります。今後も、各小学校単位による通学路の点検結果で、対策要望があった箇所については、関係機関と調整し、危険箇所への対策を行っていきます。	保健給食課	意見	×	×	個別事業に関する内容であるため
50	事前	重点施策	益田	重点3	(3)-②	公私幼保の問題は、少子化が進むにつれ、幼児園児の取り合いになり、特に市立幼稚園においては、切実な問題となってくる。時間をかけて適切な配置を考えていくべき。	令和3年度末に、前羽幼稚園を休園とし下中幼稚園に集約していますが、ここ数年、公立幼稚園の園児数減少が顕著であり、今後、小田原市立幼稚園の園児数減少への対応指針（令和3年10月）に該当する園児減少園が複数出てくるのが予測されるため、私立幼稚園の意向を把握しながら、支援を要する子への対応等の公立園の役割の明確化を含め、改めて運営の方向性を示していく必要があると考えています。	保育課、教育総務課	意見	×	○	P10
51	事前	重点施策	別所	重点4	-	地域経済の取組については、各項目の数値を明確にして頂きたい。例えば、ホームページでの優遇制度のPRについては当該ページのページビュー数、広告については地域での日刊紙の発行部数、企業立地フェアについてはイベントの小田原市ブースへの訪問者数、意見交換を行った企業の数、マッチングイベントについては参加者数とマッチング成功数、起業セミナーについては開催数と参加者数など、数値がわかるものについては数値で表示いただくのが評価の客観性にもつながる。	地域経済の各項目の取組を推進するにふさわしい目標として目標値を掲げています。ご指摘については、具体的なアクションの取組内容を記載にすることで、来年度以降、記載する際に参考とさせていただきます。	産業政策課	意見	×	○	P14

総合計画審議会委員からの意見に対する市の対応方針(案)

No.	発言方法	該当項目	委員名	該当箇所	該当箇所 (詳細)	委員意見	市の考え方・対応方針(案)	担当所管	分類	内部評価 を修正	総計審意見	反映ページ/とした理由
52	事前	重点施策	出石	重点4	-	3つの目標ともかなり高めのKPIが設定されているように思われる。高い目標を掲げて取り組むことは賛同するが、著にも棒にもかからない数値を掲げることは妥当ではない。目標年度の達成の目算は十分にあるのか。	○各KPIについては下記のとおり考えております。 【働く場所増加75社】 令和12年度までの目標値としており、達成には平均で年8件以上の増加が必要ですが、令和4年度は12社増加を達成しています。引き続き地域経済の活性化につながる企業の誘致を行っていきます。 【テレワークができる場所100箇所】 市内において民間事業者が開設してきていることから、「Work Place Market ARUYO ODAWARA」の取組の中で連携促進することで、新しい働き方がしやすい地域であることを打ち出し、目標値を目指してまいります。 【地域資源を活用したビジネスマッチング件数120件】 令和4年度は「Work Place Market ARUYO ODAWARA」のオープンが9月でしたので、令和5年度、6年度に通年で取り組むことで、令和6年度には目標達成が可能と捉えています。	産業政策課	質問	-	×	質問であるため
53	事前	重点施策	奥	重点4	-	同施策に係る3つのKPIでは、いずれも2030年度の高い目標値が掲げられているにもかかわらず、R4年度の実績値は低い水準にとどまっており、目標達成が危ぶまれない。目標値に対して実績値をどのように評価するのか、いかに目標達成が実現し得るのかといった分析・記述が欲しい。	○各KPIについては下記のとおり考えております。 【働く場所増加75社】 令和12年度までの目標値としており、達成には平均で年8件以上の増加が必要ですが、令和4年度は12社増加を達成しています。引き続き地域経済の活性化につながる企業の誘致を行っていきます。 【テレワークができる場所100箇所】 市内において民間事業者が開設してきていることから、「Work Place Market ARUYO ODAWARA」の取組の中で連携促進することで、新しい働き方がしやすい地域であることを打ち出し、目標値を目指してまいります。 【地域資源を活用したビジネスマッチング件数120件】 令和4年度は「Work Place Market ARUYO ODAWARA」のオープンが9月でしたので、令和5年度、6年度に通年で取り組むことで、令和6年度には目標達成が可能と捉えています。	産業政策課	意見	×	×	様式等の変更が必要であるため
54	事前	重点施策	秋元	重点4	(1)	鬼柳・桑原地区の工業団地の西側地区に当社の駐車場があります。現在協議中ということですが進捗を教え欲しくしてください。難航しているように感じる。	事業の進捗には事業者全員の同意が必要であり、現在約9割の方の同意を得ております。未同意の方々には、事業の必要性等を丁寧に説明を行い、理解を得ることで、事業を実現させたいと考えています。	産業政策課	質問	-	×	質問であるため
55	事前	重点施策	木村	重点4	(1)	鬼柳・桑原地区への企業誘致は、将来性がある立地であり、県内外へのPRも推進していくことで人口増へもつながる。コロナ5類移行の企業投資意欲の高まりの中、積極的な取組をしてほしい。	鬼柳・桑原地区工業団地については、交通至便性が高く、工業系用地として適地であり、東側区域では企業の立地が進んでいます。引き続き企業進出が見込まれるため、西側区域についても工業団地整備を推進していきたいと考えています。	産業政策課	意見	×	○	P14
56	事前	重点施策	益田	重点4	(2)	テレワークやワーケーションができる職種は限られており、コロナ後の需要も精査しながら進めてほしい。	コロナ禍を契機とする新しい働き方として、テレワーク・ワーケーションは定着しつつあると捉えており、世相を意識しながら、引き続き新しい働き方ができる環境の充実を図ります。	産業政策課	意見	×	○	P14
57	書面	重点施策	丸山	重点4	(2)-②	テレワーク・ワーケーション施設の整備推進において、「令和4年6月にオープンした」とありますが、現状利用頻度はいかがですか。コロナ禍がだいぶ落ち着き各企業も出勤が多くなり在宅が減少傾向かと思えます。今後使用(利用)頻度を見て対策(改善)が必要では。	「ワーケーションハウスU」は、民間事業者が管理運営している施設です。利用状況としては、レンタルオフィスは満室であり、個人のリピーターの方も少しずつ増加しております。貸切利用(イベントなど)と宿泊利用での使用も一ヶ月で数組ございますので、全体的に利用者数は徐々に増加しています。	資産経営課	要望・提案など	×	×	要望・提案などであるため

総合計画審議会委員からの意見に対する市の対応方針(案)

No.	発言方法	該当項目	委員名	該当箇所	該当箇所 (詳細)	委員意見	市の考え方・対応方針(案)	担当所管	分類	内部評価 を修正	総計審意見	反ページとした理由
58	事前	重点施策	信時	重点4	(3)	本社の誘致、地元での起業の優先。その意味でも地域資源の深い認識は必要。テレワークの風潮にあり、この辺をいかに取り込んでいくのかの重要性も言を待たないが、その人たちの交流の演出も必要。そこから新しい事業の創出も期待できる。	ビジネスプロモーション拠点を都心に設置し、交流イベント等で本市の魅力やビジネス環境を発信し、企業誘致につなげています。起業家、地元企業、地元資源の融合により、イノベーション創出が可能と考えております。重点施策4(2)「多様な働き方環境の整備」として取り組んでいる「Work Place Market ARUYO ODAWARA」において、引き続きそれらの視点をもって取り組んでいきます。	産業政策課	意見	×	○	P14
59	事前	重点施策	鈴木	重点4	(3)	新しい地域の産業物や地域資源を活用したビジネスを新規の企業の拡大につなげたい。そして機会あることに市民にPRし、皆で小田原市を盛り上げて活性化したい。	地域資源を生かして新たなビジネス展開は、地域経済の活性化に寄与すると考えており、市民周知を図りながら、美食のまちや農林水産業の地域ブランドの確立などに取り組んでいきます。	産業政策課	意見	×	○	P14
60	事前	重点施策	鈴木	重点5	-	小田原の歴史・文化は誇れるものがある。以前より小田原は観光のための通過点ではなく、足を止めて市内を闊歩している人が多くなっているように見える。	-	文化政策課	感想・謝意など	-	×	感想・謝意などであるため
61	事前	重点施策	出石	重点5	(1)	市のホームページを活用したPRや「VR」を用いた魅力向上施策は有効と思われるが、どのような取組を行っているか。	現在、市(小田原城)のホームページの中において、「VR」技術を用いて館内を巡ったり、展示を拡大して見ることが出来ます。また、展示品においてもデジタルミュージアム内で個々の詳細が見られるようになってきています。今後もこれらのソフトをホームページ等を活用して周知していきます。	文化財課、小田原城総合管理事務所	質問	-	×	質問であるため
62	事前	重点施策	信時	重点5	(2)	地域学の発展と普及を如何に現在の教育に反映させていくのか。二宮尊徳のゆかりの施設もあるが、単に観光施設にしておいてよいとは思わない。三の丸ホール企画・運営能力の向上。	尊徳記念館では、先人の教えや事績を学び、地域づくりにつなげる方法として、学芸員が市民に伝える「金次郎を学ぶ会」や、関係団体、地域の方々や尊徳翁の事績を顕彰する「尊徳祭」、子ども達向けの「子ども写真会と金次郎のおはなし」などの事業を実施しています。小田原三の丸ホールの管理運営については、指定管理者制度への移行を念頭に準備を進めており、民間事業者のノウハウを活用し、管理運営能力の向上を図ってまいります。	生涯学習課、文化政策課	質問	-	×	質問であるため
63	事前	重点施策	益田	重点5	(2)	アウトリーチ活動は、学校訪問や三の丸ホール開催など、様々な形で進めてほしい。	子どもたちに身近な学校体育館等にアーティストが出向き気軽に文化芸術に触れる機会を提供する学校アウトリーチ事業と、市内の小学校4年生を対象に小田原三の丸ホールの良質な音響で芸術を鑑賞するとともに地域の文化施設に足を運ぶ機会とする三の丸ホール鑑賞事業という目的を異にした事業を今後も実施し、子ども達の豊かな情操を育てていきます。	文化政策課	意見	×	○	P18
64	事前	重点施策	木村	重点5	(2)	ハルネ小田原うめまる広場のストリートピアノの活況ぶりから常設化を望む。	ハルネ小田原うめまる広場では一定の賑わい創出効果はあったものの、ルールを守らない利用者の存在や、音量がテナント接客に影響したほか、集客効果が限定的など課題も見えてきました。うめまる広場は公共イベントスペースとして様々なイベントを開催する場所であり、常設には適していないことに加え、近隣商業施設でだれでも弾ける常設のピアノが設置されたことから今後の設置は未定です。	文化政策課、商業振興課	要望・提案など	×	×	要望・提案などであるため
65	事前	重点施策	木村	重点5	(2)	子ども、成人、高齢者、障がい者など対象者ごとのスポーツやニュースポーツの紹介など多くの多様な市民が参加しやすいスポーツの裾野を広げる活動を展開していくことで地域活性化につながるとと思われる。	(公財)小田原市体育協会では、ニュースポーツ用具の貸し出し等を実施しております。本市としても、スポーツの裾野拡大は必要と考えており、(公財)小田原市体育協会と協力してニュースポーツの普及に取り組んでまいります。	スポーツ課	意見	×	○	P18
66	事前	重点施策	出石	重点5	(2)	地域スポーツの振興には、人材育成が極めて重要と考える。どのような取組を行っているか。	本市がその事業等を支援している(公財)小田原市体育協会では、主にスポーツ指導者等を対象とした「スポーツ講習会」や「スポーツをする」以外にもスポーツに携わる「スポーツボランティア」の募集等を実施しています。	スポーツ課	質問	-	×	質問であるため
67	書面	重点施策	丸山	重点5	(2)-③	以前から話題にはなっていますが、酒匂川河川敷スポーツ広場の活用についてどの様に検討されていますか。別の場所への設置案が出ていたようですが、酒匂川の花火大会等にも大勢の人々が鑑賞していますので維持は必要かと思えます。何とか現状場所での運用をお願いしたい。	スポーツ施設のあり方については、令和5年度及び6年度の2か年で「小田原市スポーツ施設整備基本計画」を策定することとしており、同計画の中で酒匂川スポーツ広場を含む本市公共スポーツ施設全体のあり方について、方針を示してまいります。	スポーツ課	意見	×	×	個別事業に関する内容であるため

総合計画審議会委員からの意見に対する市の対応方針(案)

No.	発言方法	該当項目	委員名	該当箇所	該当箇所 (詳細)	委員意見	市の考え方・対応方針(案)	担当所管	分類	内部評価 を修正	総計審意見	反映ページ/×とした理由
68	事前	重点施策	奥	重点5	(3)	2つのKPIについて、いずれもコロナの影響でR4年度は中止となったために実績を記載することができないのは理解できるが、現在の状況と今後の見通しに関する言及が欲しい。	ワクチン接種などの各国の入国規制については解除されたことから、相手の市と事業の再開に向けて協議を行っています。しかし、年齢の若い中学生・高校生を対象としたときめき国際学校については、相互の生徒に対して言えることですが、訪問先でのコロナの罹患を考えるとリスクがあるため、安全を第一に考えた場合、どのように事業を再開するのか協議を行っています。	文化政策課	意見	○	×	既に対応済のため
69	事前	重点施策	木村	重点6	(1)	再生可能エネルギーの導入促進は公民連携が重要であり、来年度以降、具体的な政策を推進していくことが大切である。	再生可能エネルギーの導入拡大に向けて、これまで一貫して公民連携により推進していますが、今後さらに、国の重点対策加速化事業や脱炭素先行地域づくり事業の交付金を財源に公民連携による具体的な取組を進めていきます。	ゼロカーボン推進課	意見	×	○	P22
70	事前	重点施策	出石	重点6	(1)	将来世代への責任として極めて重要な政策と考える。導入促進に向けて、条例を制定することは考えられないか。半面、太陽光発電については地場の環境悪化、健康被害や景観の問題としてもクローズアップされ、太陽光発電設備の設置に関する条例も制定されている。この点も含めた政策推進が求められる。	平成26年に「小田原市再生可能エネルギーの利用等の促進に関する条例」を策定し、再生可能エネルギーの活用を推進しています。東京都や川崎市のように太陽光発電の設置を義務化する条例の制定までは考えていませんが、令和4年10月には、特に積極的に導入する区域として「地域脱炭素化促進区域」を定めました。「地域脱炭素化促進区域」とは、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき地方自治体が地域の再生エネを活用した脱炭素化を促進する区域を定めるもので、広域ゾーニング型としては、本市が日本初の設定となります。一方で無秩序な開発による太陽光発電を規制する条例についても制定を検討していきます。	ゼロカーボン推進課	意見	×	○	P22
71	事前	重点施策	信時	重点6	(2)	地域循環共生圏を標榜するなら市域を超えた発想が必要。共生圏ならぬ経済圏という捉え方も必要ではないか。センター的なものを作ってもよいのでは。今後は脱炭素の面からも住宅の重要性を指摘したい。	まずは市内における地域循環共生を目指していく考えですが、今後の政策展開において市域を超えた発想も検討していきます。住宅の脱炭素については、改正温対法に基づき太陽光発電導入の促進区域を定めたとところであり、また住宅への木材利用も促進していきます。	環境政策課	意見	×	○	P22
72	事前	重点施策	益田	重点6	(2)	学校の木質化の基準が分からないが、小規模校に早く導入されている感がある。児童数の多い学校にも進めてほしい。	学校木の空間づくり事業については、平成30年度からこれまで、有識者にも参画いただく検討委員会において、児童数や築年数等の要件を検討した上で実施校を選定しています。引き続き、様々な要件を加味した上で木質化実施校を選定します。 【参考】木質化実施校 H30：東富水、R1：酒匂、R2：豊川、R3：新玉、R4：大窪、R5：前羽	農政課	要望・提案など	×	×	要望・提案などがあるため
73	事前	重点施策	鈴木	重点6	(2)	子ども達に木の魅力と木工の楽しさを教えてほしい。木のぬくもりは誰もが感じている。	本市では、木の魅力や木工の楽しさを伝えることが目的である木育事業として、小学校の児童を対象に座学・校外学習・著作りを体験してもらう「わたしの木づかい事業」を実施しているとともに、新生児の4か月健診時に小田原産ヒノキを使用した木製おもちゃを贈呈しています。引き続き、木育を推進するため、効果的な方法を検討していきます。	農政課	要望・提案など	×	×	要望・提案などがあるため
74	事前	重点施策	奥	重点6	(2)	KPIについて、実績値が入っておらず、備考欄にも何らの説明もない。	未算定の説明について備考欄へ追記しました。	環境政策課	意見	○	×	既に対応済のため
75	事前	重点施策	信時	重点7	(1)	更に魅力的な駅前空間の創造を期待したい。小田原に相応しい都市デザイン、街づくり指標(条例)の創設が必要。文化歴史に基づいたまちづくりを。自治会町内会の活性化のためにも地域の祭りの効用を認識すべし。	駅周辺の再開発事業の促進や歴史的資源の活用を公民連携で取り組み、駅前をはじめとした都市空間の魅力を高めることで、持続的なまちづくりを推進していきます。また、UDCODの今後の取組として、ハードの利活用だけでなく、地域の祭りや地域コミュニティの活動にも着目した事業の展開を考えています。なお、街づくりの指標については、国土交通省が「まちなかの居心地の良さを測る指標」を策定しており、これをはじめとした様々な先行事例について研究していきます。	都市政策課	意見	×	○	P26

総合計画審議会委員からの意見に対する市の対応方針(案)

No.	発言方法	該当項目	委員名	該当箇所	該当箇所(詳細)	委員意見	市の考え方・対応方針(案)	担当所管	分類	内部評価を修正	総計審意見	反映ページ/×とした理由
76	事前	重点施策	佐藤	重点7	(1)	「まちづくり」「にぎわい」の文脈で、「地価」が出てくると、違和感を感じる。	地価の上昇には、インバウンド需要、人口増加、交通機関の整備、都市開発、規制緩和など様々な要因があると言われていいます。小田原駅周辺において、広域的都市機能の立地・誘導、都市の魅力づくり、街なか居住の促進、拠点内における回遊性の向上など各種施策を推進することで、総合的な効果として、広域中心拠点である小田原駅周辺における「地価の維持・向上」を期待しています。	都市政策課	意見	×	×	KPI・目標に関する ことのため
77	事前	重点施策	益田	重点7	(1)	インバウンドが復活し、西口に多くの外国人が訪れている。しかし、店舗が少なく、手持無沙汰の様子である。店舗があれば、経済的にも潤うのでは。と感じるので、西口の開発は迅速に行ってほしい。	小田原駅西口地区については、小田原駅西口地区まちづくり協議会の再開に向けて動きに合わせて、駅前広場の利便性及び安全性の向上を図るとともに、小田原の玄関口にふさわしい新たなにぎわいの創出に向け、民間地権者や鉄道事業者と協力し、早期の事業成立を目指しています。	都市計画課	要望・提案など	×	×	要望・提案など あるため
78	事前	重点施策	木村	重点7	(1)	小田原駅西口の再開発は、新幹線ビルの完成や今後の久野地区イオンタウン完成時期から西口駅前の活用が急務になってくると考えられる。交通渋滞の解消も含め、西口駅前開発のビジョンを明らかにする必要がある。	小田原駅西口地区については、広場機能の拡充と隣接する市街地再開発との一体的な整備に向け、まちづくり協議会や関係権利者との合意形成を図りながら、令和5年度に基本構想を策定します。	都市計画課	意見	×	○	P26
79	書面	重点施策	丸山	重点7	(1)-②	以前から駅前の駐車場が少ないという声があり、だいぶ増えてきましたが、雨天時の家族の送り迎えでの混雑が目立ちますので開発時に迂回ルートの検討をお願いできればと思います。	小田原駅西口地区については、小田原駅西口地区まちづくり協議会の再開に向けて動きに合わせて、駅前広場の利便性及び安全性の向上を図る検討を進めています。今後は、駅前広場の利用実態等を調査し、広場のレイアウトについても検討していきます。	都市計画課	要望・提案など	×	×	要望・提案など あるため
80	書面	重点施策	丸山	重点7	(1)-②	駅前のみが色々と整備されていますが、少し外れると閉店が多くみられます。また、旧丸井のビルをなんとか整備(改装)は出来ませんか。旧ビルの開発は伺っていますが、旧市民会館の改装も始まりお城周辺を人が集まる(巡回)出来るプランを検討願えれば活性化につながるのではないかと。	小田原駅前ビル(旧丸井のビル)は、民間施設であるため、整備や改装は権利者の方が計画する必要があります。	都市計画課	要望・提案など	×	×	要望・提案など あるため
81	事前	重点施策	木村	重点7	(2)	空き家対策をどのように解消するのか。公民連携により丁寧に進め、所有者の理解を促し、地域の防犯や安全を考慮して解決していかなければならない。利活用できれば人口増につながると思われる。	令和5年3月に改定した空家等対策計画では、数多くの具体的施策を位置付け空家家の予防、利活用、適正管理の促進を強化しました。空家のワンストップ窓口などを開設し、複雑化している空き家問題に対応するため、令和5年5月に不動産事業者など空家等対策に関連する7団体と協定を締結し、公民連携による空家の解消に取り組んでいます。	都市政策課	意見	×	○	P26
82	事前	重点施策	鈴木	重点7	(2)	今、各々の地域で自分のところの「まちづくり」に取り組んでいる。いろいろ地域の課題も出て大変だが、地域の人達で話し、悩み、検討し合うことは貴重なことだ。	-	まちづくり交通課	感想・謝意など	-	×	感想・謝意など あるため
83	事前	重点施策	出石	重点7	(2)	前総合計画の際から意見申し上げているが、人口減少・少子高齢化で顕在化している空き家対策やごみ屋敷対策にどのように取り組まれているか。住みやすいまちとの関連もある問題と考える。	令和5年3月に改定した空家等対策計画では、数多くの具体的施策を位置付け空家家の予防、利活用、適正管理の促進を強化した。	都市政策課	意見	-	○	P26
84	事前	重点施策	奥	重点7	(2)	KPIが「小田原が住みやすいと思う人の割合」となっているが、当該KPIはここに挙げられている5つの具体的アクションによってのみ実現されるものではなく、総合計画に挙げられた施策全体を通じて達成されるものであることからすると、KPIと具体的なアクションとの間にかなりの距離/乖離があり、改めてKPIとして妥当なものであるかという疑問が沸いてくる。	設定した目標(KPI)の妥当性については、第2期実行計画策定時に検討していきます。	企画政策課	意見	×	×	KPI・目標 に関する ことのため

総合計画審議会委員からの意見に対する市の対応方針(案)

No.	発言方法	該当項目	委員名	該当箇所	該当箇所 (詳細)	委員意見	市の考え方・対応方針(案)	担当所管	分類	内部評価 を修正	総計審意見	反映ページ/×とした理由
85	事前	施策・詳細施策	平井	施策1	1	「支援会議又は重層的支援会議」とは何かを取組内容で記載した方がよい。	「支援会議」は、社会福祉法に基づく重層的支援体制整備事業を実施するに当たって組織することができることとされている会議体で、守秘義務を法定し、本人同意がない状況下でも支援関係機関が要支援者の情報共有や支援方針を検討することが出来る会議です。一方、「重層的支援会議」は、本人同意のもと、支援関係機関が集まって、要支援者に対する支援プランの検討やプランの適切性の評価などを行う会議です。取組内容には、詳細政策に含まれている施策を出来るだけ網羅的に記載しています。本詳細施策は、包括的な支援体制を築くための組織体制やソーシャルワークの強化に取り組むもので、支援会議や重層的支援会議を開催すること自体が目的ではないため、個別の用語説明は記載していません。	福祉政策課	要望・提案など	×	×	要望・提案などであるため
86	事前	施策・詳細施策	木村	施策1	1	重層的支援体制の確立に向けて複雑複合化した支援になり困難な面もあると思われるが、支援体制の連携をしてほしい。	重層的支援体制の構築は、組織体制やソーシャルワークの強化に取り組むもので、地域共生社会の実現に向けた相談支援体制の充実などの一手段であり、この取組だけで地域における福祉的課題が解決するとは考えていません。地域における見守りなどインフォーマルな支援なども含め、多くの「つながり」が生まれるよう施策に取り組めます。	福祉政策課	意見	×	○	P31
87	事前	施策・詳細施策	鈴木	施策1	1	重層的支援体制の整備は大変さが伺える。相談者の多様さ複雑さがあり受ける方が大変。ここの評価をAとするのは困難だろう。	重層的支援体制の構築は、組織体制やソーシャルワークの強化に取り組むもので、地域共生社会の実現に向けた相談支援体制の充実などの一手段であり、この取組だけで地域における福祉的課題が解決するとは考えていません。地域における見守りなどインフォーマルな支援なども含め、多くの「つながり」が生まれるよう施策に取り組めます。	福祉政策課	意見	×	○	P31
88	事前	施策・詳細施策	奥	施策1	1	総合評価において、実績値が僅かな理由が記載されているが、目標値の設定も同様の条件/理由を前提として設定されていることからすると、実績値が1件にとどまる理由足り得ないのではないかと。	重層的支援体制の構築は、支援会議や重層的支援会議の開催自体が目的ではなく、この件数に限って総合評価するものではないため、総合評価の「なお書き」以下の説明と数値目標の関係を説明するために理由を記載したものです。	福祉政策課	質問	-	×	質問であるため
89	事前	施策・詳細施策	有賀	施策1	2	取組方針の中に「地域福祉の新たな担い手を育成する取組を進めます」とあるが、実態としてはなかなか後継者が見つからず、民生委員、主任児童委員の高齢化、任期の長期化が進んでいると感じる。目標としている相談件数が達しているからこそ総合評価の最後にも書かれてあるように、委員の負担軽減の検討を進め、若者をはじめとする多世代が地域活動の担い手になってもらうための取組に期待する。	おだわら市民学校や出前講座による地域福祉の理解の促進を図ること、また、幼稚園・保育園、小学校、中学校、高校、専門学校、大学等において、それぞれの年代に応じて地域福祉を学び、理解する機会を提供するとともに、地域とのつながりを創出する取組を進めることにより、若い世代にも地域のことに関心を持ち、少しでも活動に参加してもらえるよう、市全体で取り組んでまいります。	福祉政策課	意見	×	○	P31
90	事前	施策・詳細施策	益田	施策1	2	民生委員児童委員のなり手を探すが難しくなっている。民生委員児童委員が請け負う仕事の多さも理由のひとつと感じる。有償ボランティアをしていくか、業務を行政へ移行していくか、考えていかないと制度自体、存続が難しいと感じる。	定年後も働き続けるなどの働き方の多様化や、地域の問題の複雑化などから民生委員児童委員への負担が増大する中、なり手不足は全国的にも問題となっています。民生委員の仕事を変えて見直し、働きながらでもできるなど活動しやすいようサポートしてまいります。地域のつながりも考慮しながら、仕事の内容により有償ボランティアや行政への移行も検討してまいります。	福祉政策課	意見	×	○	P31
91	事前	施策・詳細施策	信時	施策1	4	女性に不安を与えないまちづくりを期待したい。	個別計画である「第3次おだわら男女共同参画プラン」に基づき、家庭、地域、職場、教育、政治の場など、暮らしのあらゆる場面で、男女ともに性別にかかわらず互いの人権を尊重し、個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会を目指した取組を進めており、その中で女性が安心して生き生きと暮らせる環境づくりに取り組んでいます。	人権・男女共同参画課	要望・提案など	×	×	要望・提案などであるため
92	事前	施策・詳細施策	益田	施策1	4	審議会の人選をする際、「女性を」と要請されることが多いが、女性ということだけで選出することに違和感を感じている。そうしないと参画率が上がらないというのは理解できるが、社会全体の意識をボトムアップし、性別にとらわれることなく、活躍できるようになってほしい。	政策・方針決定過程において、様々な分野に男女が共に参画し、多様な価値観を反映させていく必要がありますが、多くの分野で女性の参画が進んでいない状況です。今後も意識啓発等の取組を進め、性別にとらわれることなく誰もが活躍できる男女共同参画社会を目指します。	人権・男女共同参画課	意見	×	○	P31

総合計画審議会委員からの意見に対する市の対応方針(案)

No.	発言方法	該当項目	委員名	該当箇所	該当箇所 (詳細)	委員意見	市の考え方・対応方針(案)	担当所管	分類	内部評価 を修正	総計審意見	反映ページ/とした理由
93	事前	施策・詳細施策	信時	施策2	1	高齢者の差別なく働ける、役割を持てる環境整備を継続していく努力を求めたい。	高齢者の意欲及び能力に応じた雇用の機会その他多様な就業の機会確保等に努めているシルバー人材センターに対し運営費を補助するとともに、アクティブシニア応援ポイント事業では、引き続き社会参加のきっかけとして、活動しやすい環境づくりを進め、登録者数を増やしていけるよう周知等に努めます。	高齢介護課	意見	×	○	P33
94	事前	施策・詳細施策	木村	施策2	1	アクティブシニア応援ポイントは生きがいづくりとして有効な取組であるか、まだ周知不足であると思われる。関連施設へのポスターや市広報などデジタルも含め積極的に発信してほしい。	登録者を増やすため説明会等を開催しているところですが、ご指摘のとおり事業に対する市民認知度は低いと思われる。普段からポスター等広報活動で周知を図っていきたく思います。	高齢介護課	要望・提案など	×	×	要望・提案などがあるため
95	事前	施策・詳細施策	鈴木	施策2	3	要介護認定に、現在は少し時間がかかっていると聞かケアマネージャー等の資質向上を図り、スムーズにサービスできることを願う。	現状は、要介護認定者数の増加等により要介護認定に処理日数を要しておりますが、引き続き、ケアプラン及びケアマネジメントの点検しながらケアマネージャー等の資質向上を図ることで、市民に対して質の高いサービスを提供してまいります。	高齢介護課	要望・提案など	×	×	要望・提案などがあるため
96	事前	施策・詳細施策	鈴木	施策3	-	障がい者の就業や社会参加はコロナ禍では減少のようだったが5類になってからは少し希望もてそう。大いに支援してあげてほしい。	一般就労へのつながりも好転していくと予想されることから前向きに努力していきます。	障がい福祉課	意見	×	○	P35
97	事前	施策・詳細施策	木村	施策4	2	脳血管疾患予防プロジェクト等で健康ポイント事業の活用とあるが、市民全体への周知不足があると感じる。減塩野菜取組の促進とともに積極的な発信をして、高齢者の健康づくり・介護予防を推進してほしい。	市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組むためには、まず本市の健康に関する情報を市民に確実に届けることが重要と考えています。年齢層により健康情報を得る媒体が異なると考えられるため、高齢者をはじめ、働き盛りの青年期、壮年期など、対象者に応じ、適切な媒体を使用して、確実に正しい健康情報が届くよう努めてまいります。	健康づくり課	要望・提案など	×	×	要望・提案などがあるため
98	事前	施策・詳細施策	信時	施策4	3	山、海、豊富な食材を身近にそろえている小田原であればこそ、食育を重要視すべし。土づくりから始まる農業、生態系のことから考える漁業、というように食の根本からの教育を願いたい。	食育については、令和5年度から開始した「第2期小田原市健康増進計画」の中でも「みんなで取り組む食育のまちづくり」を基本目標に位置づけ取り組んでいます。農政や水産分野も含めた庁内関係課による連絡会や、市内で食育を推進している団体との連絡会を通じ、お互いの活動や取組について情報交換し、連携を深めながら団体や企業等と協力して食育を推進していきます。	健康づくり課	意見	×	○	P37
99	事前	施策・詳細施策	鈴木	施策4	3	「自分の健康は自分で守る」の意識が一番大切。そして食育は小さい時からの教育が大事。高齢になると自分の好みの味がなかなか変えられない。	健康寿命の延伸を図るためには、「自分の健康は自分で守る」という健康意識を高めることが重要であると認識しています。食育は小さい時からのご意見ですが、主に若い世代に情報を伝える手段として、Instagramを活用し、食や健康に関する取組をわかりやすく発信しています。今後も食育を推進している関係機関とも連携して、子どもや若い世代から健全な食生活の実践につながるよう取り組んでまいります。	健康づくり課	意見	×	○	P37
100	事前	施策・詳細施策	信時	施策5	1	病気の程度によるそれへの対処が適切にできるような体制整備。病・診連携、病・病連携の推進。地域中核となる新病院の企画。	医療機関、福祉・介護施設、行政は、急性期や回復期・慢性期の病院に加え、在宅医療を担う診療所までの切れ目ない連携の構築に取り組むことや、疾病予防・介護予防も含めた病病連携、病診連携をより一層進めることとしています。	健康づくり課、経営管理課	意見	×	○	P39
101	事前	施策・詳細施策	鈴木	施策5	1	コロナ禍では毎日小田原市のコロナ感染者数を見ては不安を抱きながら一喜一憂していた。市の取組はありがたいサービスだと感じる。	-	健康づくり課	感想・謝意など	-	×	感想・謝意などがあるため
102	事前	施策・詳細施策	奥	施策5	3	KPIである経常収支比率とは別に、「紹介・逆紹介率など一部の経営指標が前年度実績を下回ったことを踏まえ、総合評価はB」としたとの説明が総合評価においてなされているが、KPI以外の指標およびそれらの前年度実績がどこにどのよう示されているのかが明らかでない。総合計画の資料編にも見当たらない。総合評価はKPIの目標達成率を踏まえて実施することとなっているが、それ以外の指標も考慮して判断するのであれば、予めその旨を明らかにしておくべき。他の施策についても、同様。	紹介率・逆紹介率の目標と実績は次のとおりであり、目標値及び前年度数値を下回っています。 紹介率：目標75%→R3実績72.4%→R4実績71.7% 逆紹介率：目標85%→R3実績85.9%→R4実績81.5%	経営管理課	意見	○	×	既に対応済のため

総合計画審議会委員からの意見に対する市の対応方針(案)

No.	発言方法	該当項目	委員名	該当箇所	該当箇所 (詳細)	委員意見	市の考え方・対応方針(案)	担当所管	分類	内部評価 を修正	総計審意見	反映ページ/とした理由
103	事前	施策・詳細施策	奥	施策5	4	Bとして総合評価において概ね計画通りに進捗しているとする理由が、実績値からは理解できない。	進捗率は工事の出来高で管理しています。市立病院敷地内駐車場(現在は閉鎖)の利用期間を最大限延長させるため、準備工事期間を令和5年3月から令和5年8月までに延長させました。そのため、令和4年度中の支払金額が予定に達しなかったが、本体工事の着手は予定通り令和6年1月で変わらず、全体としては計画通りに進捗していることからB評価としました。	病院再整備課	意見	○	×	既に対応済のため
104	事前	施策・詳細施策	鈴木	施策6	4	どこも消防団員のなり手がいないという中、消防団員の充足率が高いということは喜ばしい。また組織体制も住民にとって良かったと思われる。	-	小田原消防署消防課	感想・謝意など	-	×	感想・謝意などであるため
105	事前	施策・詳細施策	木村	施策7	1	KPIに、「危険なブロック撤去数」があるが、市民への補助金事業であるが自治会等の協力も得て該当箇所への担当課から市民への声掛けをすることも大切である。	市ホームページへの掲載や市内全域の自治会員への回覧などのお知らせはしていますが、ブロック塀はあくまで所有者の財産であり、自発的な撤去費補助金の申請を受け付けているため、個別に市民へのお声がけなどは行っていません。ただ、「傾いており倒壊のおそれがある」と情報提供があった時などは、補助制度を所有者に個別に案内するなどの対応を実施しています。	防災対策課	要望・提案など	×	×	要望・提案などであるため
106	事前	施策・詳細施策	鈴木	施策7	2	マンホールトイレの設置はありがたい。でも足腰の弱い高齢者や車椅子の障がい者にも困難なく安心してできるのか。	車椅子でも利用できる、バリアフリー型の大きい資機材も整備します。	防災対策課	質問	-	×	質問であるため
107	事前	施策・詳細施策	木村	施策7	3	防災訓練の参加者が同じ役職の人が毎年参加している現状があると思われるので、内容の周知とともに、参加者のすそのを広げる工夫が必要である。	有効な避難や備蓄など、市民一人ひとりの初動における防災意識が向上し、能動的に防災訓練に参加するような仕組みを取ります。	防災対策課	意見	×	○	P43
108	事前	施策・詳細施策	信時	施策7	3	特に震災対策(液状化、建築物強度、津波)についての防災力強化は急ぐべし	液状化に関して、県による地震被害想定調査結果によると、市内における液状化発生のおそれがある地域は、酒匂川や狩川、早川、森戸川等の河川の流域沿いに分布しており、県では液状化の可能性を想定した地震被害想定調査結果を広く県民に情報提供しています。市としては、こうした液状化に係る情報について、普及啓発を図っていきます。 建築物強度については、小田原市耐震改修促進計画に基づき、旧耐震基準の住宅・建築物の耐震化を促進するための普及啓発事業や耐震診断及び耐震改修工事等への補助事業を実施しており、住宅の耐震化率の目標は令和7年度までに95%超え、令和12年度までにおおむね解消としている。また、多数利用建築物(病院、社会福祉施設等)については、令和7年度までにおおむね解消としています。 津波対策として、「小田原市津波防災地域づくり推進計画」を策定し、必要な事業の洗い出しと進捗管理を行っており、特に津波一時避難施設(津波避難ビル)については、公共施設のほか、民間施設についても協定を結び、使用が出来るようにしています。	防災対策課	意見	-	○	P43
109	事前	施策・詳細施策	益田	施策7	3	誰もが参加しやすい防災訓練になるように、広報の仕方ややり方を考えていくと良いと考える。	防災訓練については、新たに導入した防災資機材や整備した防災設備を、取扱訓練という形で訓練のメニューとして広域避難所運営委員会に提示し、取り入れていただくことで、訓練がマンネリ化しないように努めていきます。	防災対策課	意見	×	×	個別事業に関する内容であるため
110	事前	施策・詳細施策	木村	施策8	1	世の中の治安の悪化や犯罪の変化から、市内全域に防犯灯に防犯カメラの設置を進める必要がある	防犯カメラの設置は、一定の犯罪抑止効果があるものと認識しており、施設の安全や市民の安全確保のため、市の管理している施設に防犯カメラの設置を進めています。一方で、防犯カメラの設置・運用は、市民等のプライバシー侵害のおそれがあることから、市内全域への防犯カメラ設置に向けては、慎重な対応を要するものと考えています。	地域安全課	要望・提案など	×	×	要望・提案などであるため

総合計画審議会委員からの意見に対する市の対応方針(案)

No.	発言方法	該当項目	委員名	該当箇所	該当箇所 (詳細)	委員意見	市の考え方・対応方針(案)	担当所管	分類	内部評価 を修正	総計審意見	反映ページ/とした理由
111	事前	施策・詳細施策	信時	施策8	3	ネット環境も含めた高齢者への安心対策に力を入れるべし	高齢者等の消費者被害未然防止のため、広報紙やホームページ等で情報提供を行うとともに、自治会や老人クラブ等からの依頼に基づき、消費生活講座(出前講座)を開催しています。また、地域包括支援センター、民生委員等の地域での見守り活動の中で啓発品を配布しています。今後も様々な機会を通じて高齢者の被害防止に努めていきます。	地域安全課	要望・提案など	×	×	要望・提案などであるため
112	事前	施策・詳細施策	鈴木	施策8	3	消費生活センターは市民にとって心強い味方のように思われる。消費者は買う前、契約前、振り込む前に、もっと慎重にならなければいけない。	-	地域安全課	感想・謝意など	-	×	感想・謝意などであるため
113	事前	施策・詳細施策	平井	施策9	1	現在の総合評価の書きぶりでは、KPIにこだわらないというように読めるので、修正した方がよい。	総合評価の記載についてご指摘のとおり修正します。	地域政策課	意見	○	×	既に対応済のため
114	事前	施策・詳細施策	信時	施策9	1	自治会、町内会への参画意識の醸成と高揚のための施策を求めたい	自治会への加入促進については、今後とも小田原市自治会総連合と連携を図りながら取り組んでまいります。	地域政策課	意見	×	○	P47
115	事前	施策・詳細施策	益田	施策9	1	地域コミュニティ組織の活動は、見直している地区もあるとのことだが、マンネリ化している地区の方が多いと感じる。	地域コミュニティ組織の活動の見直しについては、一斉に行う考えはありませんが、地域の実情に応じて対応してまいります。	地域政策課	意見	×	○	P47
116	事前	施策・詳細施策	益田	施策9	1	市民総体や健民祭については、コロナを経てあり方を考えなおす時期に来ていると考える。	市民総体や健民祭など、地域や各種団体が実施する取組については、その実情に応じて実施主体と協力しながら対応していきます。	企画政策課	意見	×	×	個別事業に関する内容であるため
117	事前	施策・詳細施策	奥	施策9	1	実績値や取組内容からは総合評価の記載を裏付ける内容を確認することができない。	総合評価の記載を実績値や取組内容と整合するように修正します。	地域政策課	意見	○	×	既に対応済のため
118	事前	施策・詳細施策	益田	施策9	3	市民学校の参加者は、現役世代や移住者の方の参加が増えている感がある。そうした参加者が、地域活動につながっていくような取組に変わってほしい。また、受け入れていく地域の意識改革も必要。	地域活動にあまり馴染みがない世代や移住者の方については、市民学校卒業(修了)後、その先の各所管等の事業や関連団体の活動への参加等、まずは始めやすいところにつながっていくよう、関係所管等と連携しサポートしていきたいと考えています。	生涯学習課	意見	×	○	P47
119	事前	施策・詳細施策	鈴木	施策9	3	若い世代の受講者が増えることを願いつつ、将来のまちづくりの担い手になってほしい。どこも若年層の参加には頭を痛めている。	若い世代も気軽に参加でき、また市民学校を広く知ってもらうために、令和5年度より各専門課程に公開講座を設け、体験受講の機会を創出することとしました。	生涯学習課	意見	×	○	P47
120	事前	施策・詳細施策	信時	施策10	-	子ども対策は市政の根本をなすと考える、更なる充実を求めたい。豊富な自然を活かしたユニークな教育プログラムの創設を求めたい	小田原市子ども・子育て支援事業計画に沿って施策を着実に推進するとともに、国の状況も踏まえ、他の施策とも連携し、子ども施策の充実にも努めてまいります。なお、自然を生かして学習機会を提供する事業として、本市では、非日常型体験学習inいろりの里「大平宿」や地域少年リーダー養成講座「きらめきロビンフッド」を実施しています。	子育て政策課	意見	×	○	P49
121	事前	施策・詳細施策	木村	施策10	-	子ども・子育て支援は、少子化が進む中、急務の課題であり、近隣市町の施策に遅れをとらないよう、待機児童ゼロはもちろん小児医療の無料年齢の拡大・給食費支援などにも積極的に取り組んでほしい。	待機児童については、令和5年4月1日現在で9名でしたが、現在までにすべての方へ入所可能な保育所等を紹介できています。長期的には減少傾向にあるため、引き続き、保護者のニーズに合った保育所を紹介できるよう丁寧な対応に努めます。小児医療費については、助成対象を中学卒業まで拡大しており、令和5年10月診療分からは所得制限を撤廃します。さらに令和6年秋頃から、所得制限を設けずに対象年齢を18歳まで拡大する予定です。給食費の無償化や軽減については、市民ニーズ等を見極めたうえで考えていきます。	子育て政策課、保育課	意見	×	○	P49
122	事前	施策・詳細施策	益田	施策10	1	ファミサポについて、事件やコロナの影響で相手の家での預かりに不安を覚える保護者もいる。登録方法が面倒になり、登録まで至らないということにも繋がっている。しかし、安全面を考慮すると、有効な施策なので、より良い運営や周知方法を考えたい。	ファミリー・サポート・センターの事務局では、安心して相互援助活動を行っていただくため、依頼会員と支援会員の双方の希望や要件を十分に勘案してマッチングを行っています。会員登録の簡素化に向けて研修日数を短縮したり、ファミサポ大学と称した取組を開始して事業周知や会員数の増加に努めています。	子育て政策課	意見	×	×	個別事業に関する内容であるため

総合計画審議会委員からの意見に対する市の対応方針(案)

No.	発言方法	該当項目	委員名	該当箇所	該当箇所 (詳細)	委員意見	市の考え方・対応方針(案)	担当所管	分類	内部評価 を修正	総計審意見	反映ページ/とした理由
123	書面	施策・詳細施策	有賀	施策10	1	「18歳までの医療費無料化」に関して、市でも対象者を高校生まで拡大させる方向で検討を始めているということを確認しました。「所得制限なし」での助成を予定しているということで、子育て世代にはありがたい小児医療費助成制度だと考えられます。20万人規模の自治体では財源の確保は難しいと思われませんが、前向きに検討していただけることを期待します。	-	子育て政策課	感想・謝意など	×	×	感想・謝意などであるため
124	事前	施策・詳細施策	平井	施策10	2	総合評価の書きぶりでは、KPIは達成できなかったが別にかまわないというように読めるので、修正した方がよいのではないかと。	詳細施策で説明しているように、保留児童数、待機児童数のKPIを達成するために、計画的な施設整備に加え相談体制の充実を図っています。そのため、総合評価では、KPIの達成に向けた取組として、保育コンサルジェによる相談件数を記載しています。多くの相談に対応しているため今後のKPIの達成に期待が持てるという考えでの記載となっています。	保育課	意見	×	×	既に対応済のため
125	事前	施策・詳細施策	益田	施策10	2	保留児童、待機児童数に現れない、潜在的なニーズについても把握したい。	入所を希望する保護者の声や現場の保育士より多くの声を聴くことで、潜在的なニーズの把握に努めていきたい。	保育課	意見	×	○	P49
126	事前	施策・詳細施策	益田	施策10	3	支援教育への理解が深まり、つくしんぼ教室の通級数が増加することは望ましいことだが、一方で、その子どもたちが学校へ通う年代になっていくと、小中学校の支援級が増えることに繋がる。しかし、学校教育の側からは指導者、教室などの不足問題が起きている。切れ目のない支援のために、学校教育との連携を強化してほしい	つくしんぼ教室利用児童は、本人の成長や周囲の関わりなどにより支援級の在籍にならないことも多いです。在籍に関わらず個別の特性を理解し配慮した関わりをすることは、支援をする上で非常に大切であるため、保護者の同意を取り、つくしんぼ教室から就学相談に情報提供を実施したり、就学先の学校のつくしんぼ教室への見学を受け入れるなど、切れ目ができないよう支援しています。児童福祉部門と教育部門が同じフロアにある「はーもにい」の特徴を生かし、更なる連携強化に努めます。	子ども若者支援課	意見	×	○	P49
127	事前	施策・詳細施策	鈴木	施策10	3	おだわら子ども若者教育支援センターの開設は性に悩む若者にとって相談できる窓口ができたのは良かった。親にも相談できないこともあるだろう。	-	子ども若者支援課	感想・謝意など	-	×	感想・謝意などであるため
128	事前	施策・詳細施策	奥	施策10	4	KPIである「非日常型体験学習の参加者数」は、目標値に比して実績値が大幅に下回っているが、取組内容および総合評価の記述からは「非日常型体験学習」がいかなるものかが分らず（総合計画をみても分からない）、まずは具体的な内容を明確にしておく必要があるのではないかと。	具体的な事業内容としては、長野県飯田市にある、電気と水道だけが残された「いろりの里大平宿」に宿泊し、ここでしか体験できない自然体験を通して、普段、何気なく使用している身の回りの物の大切さや文明の発達を知る機会として実施しています。	青少年課	意見	○	×	既に対応済のため
129	事前	施策・詳細施策	益田	施策10	4	非日常型体験学習は昨年始まったばかりなので、参加者数が少ないのは仕方ないが、やはりより多くの児童生徒に体験活動をしてほしいので、今後、参加者数の増減やその理由などを分析し、広報を増やすなり、活動を変えるなどして進めてほしい。	令和5年度については、保護者連絡配信システム「さくら連絡網」で情報を配信するなど、周知方法を変更し、応募者が増加しています。（70人）参加者へアンケートを実施し、改善点等については来年度以降に向けて見直していきます。	青少年課	意見	×	×	個別事業に関する内容であるため
130	事前	施策・詳細施策	益田	施策10	5	家庭教育学級については、以前からの懸案であるが、参加しない層へどのように働きかけていくか、が重要となると考える。	家庭教育学級については、出来るだけ多くの方が参加できる講座となるよう、PTAの研修会等を通じて、教職員と保護者が協力して内容を検討するための支援を行っています。家庭教育講演会については、対象を子育て期の保護者だけでなく、学校、地域、事業者等を含め、広く市民に参加を呼びかけていきます。	生涯学習課	意見	×	○	P49
131	事前	施策・詳細施策	木村	施策11	1	国語・算数の授業がわかる子の割合を目標値にかかっているが、手法は抽象的である。小・中学生に対して放課後や長期休業を活用して退職教員や教師をめざす大学生ボランティアに力を借り、小田原子ども塾を継続的に市内数か所で行い、基礎学力の向上を図る取組をしたらどうか。	国語、算数・数学の授業がわかると感じている児童生徒の割合を目標値としていますが、その実現には単に国語、算数・数学の授業を強化すれば良いということではなく、その根底にある児童生徒の考える力を育むことが重要であると考えます。また、放課後や長期休業中の補習授業につきましては、現在、放課後子ども教室において学習支援を実施している事例がありますが、その有効性や実現可能性等を含め、今後の検討課題とさせていただきます。	教育指導課	要望・提案など	×	×	要望・提案などであるため

総合計画審議会委員からの意見に対する市の対応方針(案)

No.	発言方法	該当項目	委員名	該当箇所	該当箇所 (詳細)	委員意見	市の考え方・対応方針(案)	担当所管	分類	内部評価 を修正	総計審意見	反映ページ/とした理由
132	事前	施策・詳細施策	奥	施策11	1	取組内容を見ても、2つのKPIに関連する取組の記述がなされていない。取組内容や総合評価においては、KPIを意識した記述が求められる。	取組内容中、少人数学級実現のためのスタッフの配置はきめ細かな対応に有効であるほか、ステップアップ調査の試行から得られた知見は授業改善や学力向上に結びつくものです。児童生徒1人1台の学習用端末を活用しての学習は個々の児童生徒に最適な学びを実現するために有効と考えます。また、今後、導入を進めていく「小田原版STEAM教育」は、個別の教科の土台となる生徒の課題解決能力を育むことができるものと考えます。これらの取組により、児童生徒の国語、算数・数学を含む学力の向上が図られるものと考えます。	教育指導課	意見	×	×	KPI・目標に関する ことのため
133	事前	施策・詳細施策	益田	施策11	2	放課後児童クラブについては、各学校で取組方法が異なるが、保護者、児童、地域のニーズを精査し、進めてほしい。学校運営協議会（コミュニティスクール）については、評議員会の時代から人員の構成がほぼ変わらず、本来の機能を果たしているとは、まだまだ言えない。学校、地域両方にコミュニティスクールの認識を深める必要性を感じる。	放課後児童クラブの運営については、引き続き利用者サービスの向上に努めてまいります。学校運営協議会委員については、実働性のある委員の選定が課題となっている学校があります。委員や学校職員に対して、学校運営協議会のあり方について、意識を高めていけるような働きかけを行っていく予定です。	教育総務課	意見	×	○	P51
134	事前	施策・詳細施策	有賀	施策11	2	放課後児童クラブの実績値も77%と目標基準値から上昇し、子どもたちが楽しんで参加している様子が伺える。コロナ禍で2年半ぶりに再開された放課後子ども教室についても、市民活動団体や地域ボランティアの協力を得て、活動の充実を図っている。子ども教室終了後に児童クラブに参加する児童もみられ、今後、子ども教室と児童クラブの連携も視野に入れそれぞれの良さを生かしつつ子どもたちにとって、より安心・安全な居場所となるよう願っている。	放課後子ども教室と放課後児童クラブの連携を図り、子どもにとって安全・安心に過ごせる放課後の居場所づくりに努めていきたいと考えます。	教育総務課	意見	×	○	P51
135	事前	施策・詳細施策	有賀	施策11	2	取組内容の最後にコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を新たに中学校3校で設置とあるが、年3回の会議では、学校・子どもたちが抱える課題を、地域ぐるみで解決することは難しいと感じる。コロナも落ち着いてきたところで、今後は会議以外にも学校へ足を運ぶ機会（学校行事等）を設け、アンケートなどを通し、委員の意見を反映していくことはできないかと考える。	学校運営協議会は、各学校の実状に応じて開催されており、昨年度は各校年間3回～5回実施されています。学校経営のビジョンや学校や地域の課題を共有し、熟議によってそれぞれの立場で出来ることを考え、学校と地域が協働して取り組んでいけるよう、研修を開催するなど、委員や教職員の意識を高めていけるような働きかけを行っていく予定です。コロナ禍前は学校運営協議会委員が学校行事に招待されていたため、今後、会議以外にも学校へ足を運ぶ機会が増えてくると考えられます。	教育総務課	要望・提案など	×	×	要望・提案など あるため
136	事前	施策・詳細施策	信時	施策11	3	教育相談のcapacityが十分にある、ということは重要なことだが、その件数が増えていくことは問題があるということの裏返しではないのか。ハードの整備も重要だが、内容の充実を	総合評価においても記載しましたが、相談件数が増えることは、困難な状況にある児童生徒が増えていることも意味すると考えます。今回の評価においては、敢えて相談を受け止められた点を積極的に評価しましたが、受け止めた後、困難を軽減する、なくしていくことが重要と考えますので、相談体制の強化や他機関との連携等の取組を進めていきたいと考えます。	教育指導課	要望・提案など	×	×	要望・提案など あるため
137	事前	施策・詳細施策	益田	施策11	3	きめ細やかな教育体制について、様々な取組がなされているが、依然として、グレーゾーンの児童生徒に対する支援が、社会全体としても足りているとは言えないと感じる。	全国的に、軽度の知的障がいや他者や社会との関わりの中で困難を感じる児童生徒が増えています。市としては、特別支援教育に関わる教員の配置の充実を国・県に働きかけるとともに、市独自に個別の支援に当たるスタッフを配置する等の取組を行っているところです。今後は、福祉部局とも連携し、さらなる支援の充実を図っていきたいと考えます。	教育指導課	意見	×	○	P51
138	事前	施策・詳細施策	鈴木	施策11	3	様々な課題を抱える児童生徒の数は増加傾向にあるようで、対応にあたる側も大変だが相談を受け止めることが第一歩と思う。	今後も様々な課題を抱える児童生徒や保護者の声を受け止められるよう対応してまいります。	教育指導課	意見	×	○	P51

総合計画審議会委員からの意見に対する市の対応方針(案)

No.	発言方法	該当項目	委員名	該当箇所	該当箇所 (詳細)	委員意見	市の考え方・対応方針(案)	担当所管	分類	内部評価 を修正	総計審意見	反映ページ/×とした理由
139	事前	施策・詳細施策	有賀	施策11	3	総合評価によると、「多くの相談を受け止められた点について積極的に評価する」とあるが、 教育相談内容としては具体的にどのような傾向があり、どう対応されたのかが伝わると良い。 取組内容には、様々な支援員や相談員の配置・派遣等、詳細に記されているが、教育体制の充実を図り、相談件数の増加のみでA評価とするのは、施策の方向性として適切かどうか少々疑問に感じる。また視点は違うが、 教員の長時間労働といった課題もあり、教員の退職者も急増する中、児童生徒の相談のみならず、教員の相談窓口も広げ、心のケアの必要性が求められていると感じる。	相談件数の増加のみでA評価とすることに関しての疑問につきましては、ご指摘のとおりと考えます。取組でA評価とした理由は、総合評価にも記載しましたとおりですが、このA評価を以て課題はないなどと判断するものではありません。現状では、多くの相談を受け止めることができていますので、今後は、一人でも多くの方の課題を解決できるように、相談体制の強化や、他機関等との連携等の取組を進めていきたいと考えます。また、教員の働き方改革につきましては、在校時間等を正確に把握するためのシステムを導入したほか、メンタルヘルスチェックの実施や必要に応じ産業医との面接の機会を設けるなどの対応を図っているところです。今後も、教員が健康に働くことができる環境整備に努めてまいります。	教育指導課	意見	×	○	P51
140	事前	施策・詳細施策	秋元	施策11	4	三の丸小学校の近辺にマンションが3棟建設されるため、今後入学する子供も増えると思う。三の丸小学校の人気は非常に高いので、35人学級の実現に向けてさらに力を入れていく必要があるのではないか	児童数推計等を踏まえ、適切に対応していきたいと考えます。	教育総務課	要望・提案など	×	×	要望・提案などがあるため
141	書面	施策・詳細施策	有賀	施策11	4	「給食無償化」について、物価高騰による生活(家計)への負担は避けられず、ぜひ無償化を視野に入れ、誰もが安心して子育てできる地域社会の実現を目指してほしいと考えます。	保護者負担の軽減の取組として、令和2年度には学校の休業明けに3か月の給食費無償化を、また令和4年7月からは物価高騰対策として値上がりした食材費を保護者負担としないように取り組んでいます。給食費の無償化については、本市の子育て世代のニーズをしっかりと把握しながら、給食費を含め、子育て世代の負担軽減に取り組んでいきます。	保健給食課	要望・提案など	×	×	要望・提案などがあるため
142	事前	施策・詳細施策	信時	施策12	2	起業の重要性もさることながら、事業の継承にも配慮を。	引き続き、事業継承についても視野に入れて起業支援を取り組んでまいります。	産業政策課	意見	×	○	P53
143	事前	施策・詳細施策	益田	施策12	3	若者が魅力に感じる職企業、職を増やさない、UIJ就職は増えないと感じる。	働くことに対する若者の考え方や価値観は多種多様であることから、本市が有するポテンシャルや市内企業が持つ隠れた魅力を情報発信する等により、UIJターン就職を増やしてまいりたいと考えています。	産業政策課	意見	×	○	P53
144	事前	施策・詳細施策	鈴木	施策13	2	小田原の木製品のすばらしさは誇りです。県外にも国外にも出品する機会を創り大いにPRしてほしい。	ご指摘のとおり、広くPRすることができる機会の創設は重要と考えており、市は地場産業振興協議会等の団体と連携して、首都圏を中心とした出展機会を提供しています。これまで出展してきた場所以外にも視野に入れながら、引き続き取り組んでまいります。	産業政策課、商業振興課	意見	×	○	P55
145	事前	施策・詳細施策	信時	施策13	3	人口減少の全体的なトレンドにある中で流入客数のみを指標にしていることは苦しいのではないかと考える。売り上げ増とか、単価上昇とか、別の指標も検討されたい	本市は、流動客調査を昭和42年から継続して実施しており、にぎわいの変化を示す指標として有効なものであると考えています。なお、事業者等の売上額や単価等については、秘匿すべき企業情報や個人情報に該当し、情報取得や開示は困難であると考えています。	商業振興課	意見	×	×	KPI・目標に関する ことのため
146	事前	施策・詳細施策	信時	施策14	2	土地利用の観点からも重要な視点である。地域の価値を減じないような施策を	適切な土地利用がなされていることは、重要であると考えており、引き続き農地として適切に管理できるよう支援するとともに、ほ場や農道、用排水路などの生産基盤の整備や長寿命化に向けた取組を実施します。	農政課	意見	×	○	P57
147	事前	施策・詳細施策	奥	施策14	2	総合評価欄に記載のようにKPIを変更するのであれば、令和6年度の目標値を1.5haとする根拠を明確にすべき。	高齢化などによる担い手の不足が年々深刻となっている中、最近5年間の耕作放棄地解消面積の年平均が約0.5haであるため、令和4年度～令和6年度の3年間で1.5haの耕作放棄地解消を図ることを目標値として設定しています。	農政課	意見	○	×	既に対応済のため
148	事前	施策・詳細施策	鈴木	施策14	4	確かに森林は心のオアシスです。我々ほもっと地域の森林に目を向け大切に親しむことが必要。定年後、土に親しむ人が多い。	子どもから大人まで幅広い年代の方に小田原の森林及び林業・木材産業への関心を持ってもらえるように、引き続き、木育推進事業を通して普及啓発していきます。	農政課	要望・提案など	×	×	要望・提案などがあるため
149	事前	施策・詳細施策	信時	施策15	-	担い手の数や事業継承、漁獲高の向上、等にも配慮していく必要あり。	担い手の数や事業継承、漁獲高の向上等については、KPIとしては記載していませんが、各種取組において実施しており、今後も配慮していきます。	水産海浜課	意見	×	○	P59

総合計画審議会委員からの意見に対する市の対応方針(案)

No.	発言方法	該当項目	委員名	該当箇所	該当箇所 (詳細)	委員意見	市の考え方・対応方針(案)	担当所管	分類	内部評価 を修正	総計審意見	反映ページ×とした理由
150	事前	施策・詳細施策	鈴木	施策15	-	自然相手の環境に左右される水揚げ量が思い通りにいかないのも仕方がない。「おだわらあんこうカレー」や「はこピュン」などアイデアを活かした取組にも期待したい。	今後も、小田原の魚の認知度向上と消費拡大を目指し、小田原の魚ブランド化・消費拡大協議会を中心に、様々な事業を推進していきます。	水産海浜課	意見	×	○	P59
151	事前	施策・詳細施策	信時	施策16	-	観光×地域住民のhitchが起こらないようなまちづくりをしてほしい	観光施策の推進に当たっては、シビックプライドの形成と、市民の観光まちづくりに対する理解が必要と考えており、「小田原市観光戦略ビジョン」においても、「市民のための小田原観光」を戦略プロジェクトの一つに掲げていることから、暮らしと観光が結びついたまちづくりを進めていきます。	観光課	意見	×	○	P61
152	事前	施策・詳細施策	益田	施策16	3	小田原の自然環境を利用し、体験型マイクロツーリズムのような観光ツアーを開発すると良いと思う。	「小田原市観光戦略ビジョン」において、本市の「なりわいや自然環境を生かした新たな体験コンテンツづくり」を重点施策に掲げていることから、観光協会をはじめ関連団体との連携により、市内の回遊を促す観光コンテンツを創出していきます。	観光課	要望・提案など	×	×	要望・提案などであるため
153	事前	施策・詳細施策	鈴木	施策16	3	高齢者にはなかなかついていけないが、観光にデジタル技術を活用しているのは効果的である。	本市の観光PRIに当たっては、様々な観光パンフレットを作成するほか、市ホームページやSNSでの発信に加え、デジタル技術を活用した観光PR動画の制作などにより、本市の観光資源や魅力を発信し、旅前や旅中の情報発信による回遊性の促進を図るなど、新たな観光客層へのアプローチにつなげていきます。人流動向調査も含め、引き続き積極的にデジタル技術を活用し、交流人口及び観光消費額の最大化による地域経済の好循環を実現していきます。	観光課	意見	×	○	P61
154	事前	施策・詳細施策	信時	施策17	-	観光のベースとなるものであり、地域の方々の誇りとなり、教育コンテンツにもなり得るものなので、大きく活用してほしい	本市の貴重な文化財として、市民・観光客に来館してもらう事で、その歴史や文化を伝えていくとともに、子どもたちにも学んでもらえるような事業を指定管理者である一般社団法人小田原市観光協会と協力しながら事業を考えていきます。	文化財課、小田原城総合管理事務所	意見	×	○	P63
155	事前	施策・詳細施策	鈴木	施策17	2	この分野は陽の当たる部分と当たらぬ部分があるが、文化財の保存管理には所有者への助成は必要であろう。	今後も、指定文化財の管理状況の把握に努めるとともに、所有者に対する助成を実施して行きます。	文化財課	意見	×	×	個別事業に関する内容であるため
156	事前	施策・詳細施策	益田	施策17	4	KPIが、松永記念館来館数でよいのか。	松永記念館は、市や地域の市民団体が主催するイベントを開催しているほか、茶道をはじめとする市民文化団体も活動を行っており、市民から観光客まで幅広い層の来館が見込めるため、選定したものです。	生涯学習課	意見	×	×	KPI・目標に関するものため
157	事前	施策・詳細施策	鈴木	施策18	1	コロナ禍で外出を控えている人は多く、まだ小田原三の丸ホールの存在や建物を知らない人は多い。地道に鑑賞事業など実施し、周知の機会を創ってほしい。	小田原三の丸ホールの存在を幅広く知っていただくことは、来館者や利用者の増により、本市の文化振興や周辺地域の活性化の創出に繋がることから、大変重要であると認識しています。引き続き鑑賞事業等の自主企画事業の実施や広報等により、周知を図って行きます。	文化政策課	要望・提案など	×	×	要望・提案などであるため
158	事前	施策・詳細施策	益田	施策18	3	電子図書館の普及に期待したい。	-	図書館	感想・謝意など	-	×	感想・謝意などであるため
159	事前	施策・詳細施策	益田	施策18	5	生涯学習は、今までのものを踏襲するだけでなく、市民学校との連携や地区公民館の利用促進など、小田原市全体で進めたい。	本市における生涯学習は、個人が多様な機会を捉えて学習を継続して成長するだけでなく、個人が学習を通じて得たものを社会に生かしていくことで、地域の課題解決やより良いまちづくりのための活動を実現するものであり、人とともにまちが成長することを目指していることから、担当所管のみならず、市全体で進めていくものと捉えています。	生涯学習課	意見	×	○	P65
160	事前	施策・詳細施策	鈴木	施策19	1	地球温暖化で地球が壊れていくようで心配だが、脱炭素のための我々の生活の中での行動などの助言を具体的に示して協力を得てほしい。	脱炭素化の取組は行政、事業者だけでなく市民の行動変容も重要です。市民向けの普及啓発として環境省の「ゼロカーボンアクション30」を活用するなど、市民にとって身近な取組を紹介し、具体的な行動へと促していきたいと考えております。	ゼロカーボン推進課	意見	×	○	P67

総合計画審議会委員からの意見に対する市の対応方針(案)

No.	発言方法	該当項目	委員名	該当箇所	該当箇所 (詳細)	委員意見	市の考え方・対応方針(案)	担当所管	分類	内部評価 を修正	総計審意見	反映ページとした理由
161	事前	施策・詳細施策	奥	施策19	1	R3年度のKPI実績値は303台とのことで、基準年に比して微増にとどまり、目標値である1000台にはほど遠いが、何故に「B」と評価したのかの理由が総合評価の記述からは分からない。数値からは「C」または「D」としてもおかしくない。	KPIとして電気自動車の普及台数を設定しましたが、本評価施策は温暖化対策の推進であり、省エネ促進やごみの排出量削減、環境に配慮したライフスタイルの転換への普及啓発など、多岐にわたる取組があります。省エネ設備の補助件数やごみ排出量などは、一定の成果が出ており、環境配慮の普及啓発も一定程度実証していることから「B」評価としました。普及啓発の効果は今後顕在化するものと見込んでいます。	ゼロカーボン推進課	意見	×	×	KPI・目標に関する ことのため
162	事前	施策・詳細施策	信時	施策19	2	エネルギーの地産地消を目指すこと、再生可能エネルギー源の更なる多様化も検討すべし。EVの指標は脱炭素のどこまで資しているのかLCAの観点からも検討があればよいのでは(欧州等での動きもウォッチすべし)	エネルギーの地産地消に向けては、地域のエネルギーを地域で効果的に活用する仕組みの構築を図っていきます。本市の再生可能エネルギー導入ポテンシャルでは太陽光が最も高いため、これを主力として取り組むこととし、中長期的には経済性や技術開発の動向等を踏まえて検討していきたいと考えています。EVについては、製造段階の二酸化炭素排出量が高いものの、走行段階では低く走行距離が伸びるほどガソリン車との差が出ますので、今後もEVの普及を図る中で、欧州等世界の動きにも注視してまいります。	ゼロカーボン推進課	意見	×	○	P67
163	事前	施策・詳細施策	木村	施策19	2	ゼロカーボン・デジタルタウン創造事業の推進について来年度以降取組の見える化をする必要がある。	令和6年度は、令和6年3月に策定予定の「小田原市ゼロカーボン・デジタルタウン基本構想」に基づいて、ゼロカーボン・デジタルタウンの基本的な考え方や整備コンセプト、事業手法などの市民周知を図り、事業に対する理解の醸成に努めます。	ゼロカーボン・デジタルタウン推進課	意見	×	×	個別事業に関する 内容であるため
164	事前	施策・詳細施策	木村	施策20	2	生態系の維持保全にむけて、市民に向けたメダカの配布などは環境意識を高めるよい取組なので今後も進めてほしい。	メダカの配布事業については、これまでに24年間継続しており、延べ約2,200世帯に配布してきました。今後については、より環境意識を向上させ、広く周知していく必要があることから、市内事業所や市内学校等を中心に配布していきます。	環境保護課	意見	×	×	個別事業に関する 内容であるため
165	事前	施策・詳細施策	鈴木	施策20	2	2年前はイノシシが住宅まで来て農作物を食べ荒らして被害大だったが捕獲に努め、いまは減少してきた。	専門家などの関係者間では、ニホンジカの生息数増大に押しやられイノシシの生息域が市外に移ったと見る動きや、イノシシは現在は山中の栄養価で足りるだけの生息数に落ち着いただけであり、数年後には市街地に出没する程度に再度増加するという意見もあります。野生生物のことであるため、安心も過度の警戒もできませんが、引き続き有害獣駆除に尽力していただいている方と協力し、捕獲に努めていきます。	環境保護課	意見	×	×	個別事業に関する 内容であるため
166	事前	施策・詳細施策	鈴木	施策21	1	いろいろな物の値上がりが続く中、ムダのない買い方やロスが出ないような生活に変わりつつある。	物価上昇による節約志向などの現状を、食品ロス削減やマイボトル推進への良い機会と捉え、さらに推進していきます。	環境政策課	要望・提案など	×	×	要望・提案などであるため
167	事前	施策・詳細施策	信時	施策21	2	産業廃棄物の取り扱いに関してはエネルギー関連もあり多角的に検討すべし	市が所管する一般廃棄物処理については、ごみ処理広域化実施計画に基づき、1市3町の集約化による省エネルギー化、エネルギー利用に優れたごみ処理施設の整備等を検討していきます。	環境政策課	要望・提案など	×	×	要望・提案などであるため
168	事前	施策・詳細施策	木村	施策21	3	自治会の苦情の中で犬猫のマナーやふん尿の処理が多いと聞く。環境美化や公衆衛生面からも今後も取り組んでいく必要がある。	本市は、神奈川県動物愛護管理推進計画に基づいて、適正飼養に関する普及啓発を担っていることから、飼い方マナーの啓発について啓発看板の配布や犬のしつけ教室の開催、広報おだわらでの周知等を行っています。また、公衆衛生等の観点に係る飼い方マナーについては、動物の愛護及び管理に関する法律第25条により都道府県が飼い主への指導権限を有していることから、引き続き神奈川県と連携して取り組んでいきます。	環境保護課	意見	×	×	個別事業に関する 内容であるため
169	事前	施策・詳細施策	信時	施策22	1	公・民・学のアライアンスを更に向上させるためにUDCODの活用を大いに図るべき	UDCODについては、令和5年度から本格的な活動をスタートさせており、地域からのまちづくり相談や都市の調査・研究、空間デザインのマネジメントといった取組を進めています。このような取組を通じて、UDCODがまちづくりの調整役となり、本市の公・民・学の連携を更に深化させていきます。	都市政策課	意見	×	○	P73

総合計画審議会委員からの意見に対する市の対応方針(案)

No.	発言方法	該当項目	委員名	該当箇所	該当箇所 (詳細)	委員意見	市の考え方・対応方針(案)	担当所管	分類	内部評価 を修正	総計審意見	反映ページ/とした理由
170	事前	施策・詳細施策	信時	施策23	-	防災面からの視点での住環境整備も重要	施策7「防災・減災」において、大規模自然災害が起きても、都市の主要な機能を機能不全に陥らせないため、建築物の耐震化の促進や防災意識の啓発を進めています。	都市政策課	意見	×	○	P75
171	事前	施策・詳細施策	木村	施策23	1	市内各地で空き家・空き店舗が増えている状況の中、その利活用を公民連携で進め移住・転入のよい機会とする必要がある。	令和5年3月に「空家等の流通・利活用の促進」を基本方針の一つとする小田原市空家等対策計画を改定しました。この計画の中で、空き家相談窓口（ワンストップ窓口）制度による支援や不動産無料診断制度などの利活用につながる様々な施策を定めており、不動産関係団体との連携により、実効性のある空家等対策を推進していきます。	都市政策課	意見	×	○	P75
172	事前	施策・詳細施策	鈴木	施策23	1	空き家が増える中、行政と不動産事業者との連携で民間の住宅ストック活用を大いに期待します。	令和5年3月に「空家等の流通・利活用の促進」を基本方針の一つとする小田原市空家等対策計画を改定しました。この計画の中で、空き家相談窓口（ワンストップ窓口）制度による支援や不動産無料診断制度などの利活用につながる様々な施策を定めており、不動産関係団体との連携により、実効性のある空家等対策を推進していきます。	都市政策課	意見	×	○	P75
173	事前	施策・詳細施策	木村	施策24	1	持続可能な公共交通ネットワーク構築に向けて、駅、病院、スーパーなどを巡回する市内を広域にめぐるコミュニティバスの運行を検討することも高齢化の進行とともに考えていく時期に来ているのではないかと。	令和5年度に策定する地域公共交通計画において、コミュニティバスをはじめ、様々な移動手段のメリット・デメリットを整理した上で、地域のニーズや実情を踏まえ、計画への位置付けを検討していきます。	まちづくり交通課	意見	×	○	P77
174	事前	施策・詳細施策	鈴木	施策24	1	バス路線の空白で通勤通学はもとより、高齢者の生活にも困っている。移動手段の検討に着手してくれていることに感謝。	-	まちづくり交通課	感想・謝意など	-	×	感想・謝意などであるため
175	事前	施策・詳細施策	信時	施策25	-	防災/気候変動(雨量)に対応したインフラ整備という観点で	河川流域の河川管理者、下水道管理者、神奈川県、市町等のあらゆる関係者が協働して、流域全体でハード・ソフト一体となった治水対策を計画的に推進しており、本市では雨水渠整備を計画的に進めています。	経営総務課	要望・提案など	×	×	要望・提案などであるため
176	事前	施策・詳細施策	鈴木	施策25	3	住民の上下水道に対する理解を深めて協力してもらうことが市民にとっての適正な料金につながるのではないだろうか。	市民生活に欠かすことのできないインフラである上下水道事業の重要性を効果的な手段（広報紙への掲載や各種イベントでのPR等）で市民等に伝え、上下水道事業に対する理解を深めて協力してもらえよう努めてまいります。	経営総務課	要望・提案など	×	×	要望・提案などであるため
177	事前	推進エンジン	別所	推進エンジン1	1	市のHPについて、アクセス数も重要だがユーザビリティの評価も同時に必要。総合評価を行う場合にはそれもみて頂きたい。	ユーザビリティについては、総合計画の評価には用いていませんが、ページアンケートとして常に職員が意識できる仕組みとし、職員にはページ作成に役立つよう促しています。	広報広聴室	意見	×	○	P81
178	事前・第1回	推進エンジン	出石	推進エンジン1	1	単なるホームページアクセス数だけでは情報共有は計ることができないと考える。一般的に行政が提供する情報と市民が得たい情報に乖離があるように思われる。また、市民目線からは自分が特に関心がある分野の情報が届いていないと感じているケースも少なくない。いかに市民と情報を共有できるかが肝要である。	ユーザー目線の情報発信はホームページ作成の基本と捉え、職員研修などで意識の醸成を図っています。ただ、情報があふれ、生活様式も多様化する現代において、必要なユーザーに必要な情報を届けることが難しいということも現実であり、ホームページ内のかんたん検索などの機能改善に留まらず、SNSによる情報発信の強化や紙媒体の活用など、複層的な情報発信にも努めていきます。	広報広聴室	意見	×	○	P81
179	事前	推進エンジン	信時	推進エンジン1	2	管理から経営へ、という視点、姿勢が必要な時代となったと認識すべし	ご指摘のとおりであり、本市では、「将来を見据えた行財政運営の推進」を目標に行政改革を実施する等、行政経営に取り組んでいます。	企画政策課	意見	×	○	P81
180	事前	推進エンジン	鈴木	推進エンジン1	4	女性職員の昇任に対する意識の上昇が見られなかったことに少しの失望と理解もありました。でも頑張ってください。	昇任意識の上昇に関しては、長期的な取組が必要であると認識していることから、第2次小田原市特定事業主行動計画が終了する令和7年度末までに目標値を達成できるよう、引き続き施策を推進していきます。	職員課	意見	×	×	個別事業に関する内容であるため
181	事前	推進エンジン	信時	推進エンジン2	-	全ての施策において公民連携のプロジェクトメイキングは必要な時代であり、他の施策等でも具体的な展開を図る必要がある	地域が抱える課題が高度化・複雑化し、行政経営資源だけで適切かつ速やかな課題解決を図ることが難しくなりつつあるなか、これらの課題に対応するためには、独自のノウハウや資源を有する民間事業者との連携を強化・推進する公民連携が必須であると考えています。広範な分野で、多岐にわたる地域課題の解決を図るため、市が一丸となって積極的に公民連携を推進していきます。	未来創造・若者課	意見	×	○	P83

総合計画審議会委員からの意見に対する市の対応方針(案)

No.	発言方法	該当項目	委員名	該当箇所	該当箇所 (詳細)	委員意見	市の考え方・対応方針(案)	担当所管	分類	内部評価 を修正	総計審意見	反映ページ/とした理由
182	事前	推進エンジン	出石	推進エンジン2	1	民間提案は、提案数だけではなく実現数に着目することが肝要と考える。そのためには、提案前の様々な情報提供、提案後の助言等により実現可能性を求めることが求められるのではないかと。アイデアの出し放しで封殺するようではかえって市民感情からは逆効果となる。まさに提案をきっかけに公民連携で実現を目指してほしい。	民間提案制度は、市場原理の中で培ってきた独自のノウハウや様々な資源を有する民間事業者との連携により、地域課題の解決や市民サービスの向上等を図ることを目的に運用しています。提案数や実現数の重要性もさることながら、民間事業者との意見交換といった「対話」が重要であると考えており、試行実施で把握した課題を踏まえ、提案提出前に実施する事前相談期間を十分に確保することとしました。今後も、市と民間事業者が対等な関係で協議し事業化していく本制度を運用し、公民連携を推進していきます。	未来創造・若者課	意見	×	○	P83
183	事前	推進エンジン	鈴木	推進エンジン2	3	公民連携によるSDGsの推進ではSDGsへの関心が広まっており、目標値を上回るパートナー登録数があったことに喜びと希望が持てました。この方たちの活用に期待します。	-	未来創造・若者課	感想・謝意など	-	×	感想・謝意などであるため
184	第1回	推進エンジン	関	推進エンジン2	3	小田原市は、SDGs未来都市に選定されていますが、今回の評価において、SDGsに関する視点が足りない。SDGsは1個の取組というよりも、横断的指標であるので、その横断的指標が見える化できるような検証の仕方をしていただけないか。	ご指摘の通り、総合計画を最上位計画とすると、SDGsは、そのすぐ下に位置する概念であると認識しています。本市はSDGs未来都市計画において、SDGsの経済・社会・環境に即したKPIを用意し、毎年検証を実施しています。推進エンジン2詳細施策3「公民連携によるSDGsの推進」では、直接的にSDGsに関係している取組であることから、KPIとして置いています。実際はSDGsの取組に関連する指標は1つではなく、SDGs未来都市計画では複数位置付けています。計画ごとにその役割を分けてお示ししています。	企画政策課	意見	×	×	様式等の変更が必要であるため
185	第1回	推進エンジン	益田	推進エンジン2	3	KPI「SDGsパートナー登録者数」が既に100%となっており、今後もこのKPIはA評価になることが予測される。今回の評価において、A評価であったものについては、もう1度目標値を考え直した方が良いのでは。	KPIについては、単年数値と累計数値があります。累計数値でA評価となった、推進エンジン2詳細施策3「SDGsパートナー登録者数」と、施策9詳細施策3「市民学校卒業生・修了生の担い手実践活動人数」については、次なる目標値を検討します。それ以外の目標値は単年数値であるため、現時点で一様に上方修正する方針はありません。	企画政策課	意見	○	×	既に対応済のため
186	事前	推進エンジン	益田	推進エンジン3	-	まずは、市役所とけやきなど、市の施設へのWi-Fiの整備をお願いしたい。	令和4年度デジタル田園都市国家構想推進交付金において市内公共施設へのWi-Fi設置を拡大したほか、地区公民館へのWi-Fi設置を行いました。	デジタルイノベーション課	要望・提案など	×	×	要望・提案などであるため
187	事前	推進エンジン	木村	推進エンジン3	-	デジタルのまちづくりとして市民は全所的に無料Wi-Fiエリアの拡充はデジタルDXを一番実感し生活の利便性を感じると思う。	令和4年度デジタル田園都市国家構想推進交付金において市内公共施設へのWi-Fi設置を拡大したほか、地区公民館へのWi-Fi設置を行いました。	デジタルイノベーション課	要望・提案など	×	×	要望・提案などであるため
188	第1回	推進エンジン	木村	推進エンジン3	-	デジタルでまちづくりを進めることについて、市民の生活がより良くなるような事業展開をして欲しい。市民が小田原が暮らしやすいまちだと思えるような部分と、観光客が便利で誘致になるという部分の兼ね合いについて疑問を感じる。	市民の暮らしを良くし幸福度を上げるためにデジタル化によるまちづくりを進めています。一方で、デジタル化導入には多額の経費が必要であることから、国庫補助金を積極的に活用し、まずはできることから実施しています。まずは観光客の情報を得るといったメニューにおいて導入し、その仕組みの有効性を確認したうえで横展開も検討しています。	企画政策課	要望・提案など	×	○	P85
189	事前・第1回	推進エンジン	別所	推進エンジン3	1	行政基盤のDXについて、利用しているシステムのユーザビリティも考慮に入れて総合評価を行っていただきたい。	行政基盤のDXに関連するシステムが多く、それぞれについてユーザビリティの評価が難しいことから、市民が利用するシステムに絞って評価する方法を検討します。	デジタルイノベーション課	意見	×	○	P85
190	事前	推進エンジン	信時	推進エンジン3	1	推進エンジンの中でもデジタルまちづくり、というのであれば、申請作業のみならぬデジタル化の方策を示すべき。他のすべての施策への応用を図らないと意味が無いと思われる。デジタル教育も正にその一環であるべし。パーツではなく、すべての施策の上位に位置する考えはないか。	今年度よりWell-Being指標を活用してデジタル化による市民の生活の質の向上について全体を俯瞰しながら検討する予定です。また、それに伴い小田原市DX推進計画を見直していきます。	デジタルイノベーション課	意見	×	○	P85
191	事前	推進エンジン	鈴木	推進エンジン3	1	高齢者にはなかなかついていけないが、世の中はデジタル化になっていくのだろう。市立病院の受付や会計はデジタル化しており職員が親切に教えてくれている。	-	デジタルイノベーション課	感想・謝意など	-	×	感想・謝意などであるため
192	事前	推進エンジン	出石	推進エンジン3	1	デジタルデバйд対策はどのように行っているか。例えば、マイナンバーカードの運用の問題から情報の紐づけをしない単なるプラスチックカードと化すようでは意味がない。DXをいかに適切に運用していくかが肝要と考える。	協定を締結する携帯販売事業者によるデジタルデバйд向けの「スマホ教室」の開催を継続しています。マイナンバーカードについても住民理解につながる丁寧な説明を行います。	デジタルイノベーション課	意見	×	○	P85

総合計画審議会委員からの意見に対する市の対応方針(案)

No.	発言方法	該当項目	委員名	該当箇所	該当箇所 (詳細)	委員意見	市の考え方・対応方針(案)	担当所管	分類	内部評価 を修正	総計審意見	反映ページ/×とした理由
193	事前	推進エンジン	出石	推進エンジン3	2	生成AIの活用方策と課題への対応はどのように行っているか。	庁内で生成AIが有効活用できるよう、先進自治体の例を参考に導入に向けて検討しているところです。	デジタルイノベーション課	質問	-	×	質問であるため
194	事前・第1回	その他	別所	-	-	実績値が目標値達成に向けてオントレンドなのかどうかという点を評価のうえ、記載いただいている取組がどの程度将来の実績にインパクトがあると予想しているのかという点についても触れていただくと、総括評価がより分かりやすくなると思う。	まちづくりの目標における総括評価については、全体の取組に加え、掲げているKPIと、まちづくりの目標との関係性についても整理した文章とします。	企画政策課	意見	○	○	-
195	事前	その他	平井	-	-	各担当課のみなさんが目標達成に努力されようとしていること、真摯に評価をされようとしていることを痛感した。他方で、「まちづくりの目標-重点施策-詳細施策」間の関連が明確でない印象が残る。もちろん国の制度変更などで義務的に達成しなければならないもの、総合計画とは一義的には関係ない諸計画にひもづいているものなどが混在しているのはわかるが、全ての施策を詳細施策に挙げていなくてもいいと考えるため、あえて挙げるのであれば、「目標-重点-詳細」は関連づけ体系化されているのが望ましいと考える。	計画を構成する「まちづくりの目標」「重点施策」「施策（・詳細施策）」「推進エンジン」の関係性について、全てが1対1の関係とならないことから、完全にそれぞれを紐づけし図示することはしていませんが、体系図としてその概要を計画書32頁でお示しています。	企画政策課	意見	×	○	-
196	事前	その他	平井	-	-	「重点施策・詳細施策」双方で、それをKPIに設定するのがそもそも妥当なのか、KPIに設定された目標値が妥当なのか不明瞭な印象が残る。	設定した目標(KPI)の妥当性については、第2期実行計画策定時に検討していきます。	企画政策課	意見	×	○	-
197	事前	その他	平井	-	-	A評価のものはむしろ対象設定や水準設定の妥当性を疑った方が良く考えるので、現在からでも目標値を修正した方が良いのではないかと。	KPIについては、単年数値と累計数値があります。累計数値でA評価となった、推進エンジン2詳細施策3「SDGsパートナー登録者数」と、施策9詳細施策3「市民学校卒業生・修生の担い手実践活動人数」については、次なる目標値を検討します。それ以外の目標値は単年数値であるため、現時点で一様に上方修正する方針はありません。	企画政策課	意見	○	×	KPI・目標に関するのため
198	事前・第1回	その他	別所	-	-	取組内容については、どのような取組が目標値に対してどの程度の影響を与えているのかということが読み取りにくいいため、定性的な記載だけではなく、取組結果についての定量的な記載をすするとより分かりやすくなる。	今年度については、取組内容の記載方法を可能な範囲でご指摘のとおり修正します。また、来年度以降は、内部評価の段階でご指摘の内容を反映できるよう検討します。	企画政策課	意見	○	○	-
199	事前・第1回	その他	別所	-	-	総合評価については、評価がB以下であるものについて「引き続き○○に努めていく」といった記載がなされていたり、評価を上げていくための今後の施策について触れられていないものがあるが、今後評価がAとなっていく可能性があるのか、ないのかについても根拠を含めて触れて頂ければ検証としてより明確になる。	今年度については、取組内容の記載方法を可能な範囲でご指摘のとおり修正します。また、来年度以降は、内部評価の段階でご指摘の内容を反映できるよう検討します。	企画政策課	意見	○	○	-
200	事前	その他	信時	-	-	非常に微に入り細に入りの綿密な施策展開を図られようとしていることは感じられるが、施策には、ヒエラルキーもあってよいと思われる。推進エンジンから重点施策、その他施策まで、何かすべてが同列で、それぞれがパーツでしかない、というように見える。市全体としての上位の計画からパーツにおりていく形を取らないと、縦割りは解消されず、短期的な成功体験で終わってしまうのではないかと、危惧する面もある。特にデジタル化や公民連携は全体を通してのコンセプトであるべきだと思われる。	重点施策は令和12年度を目標年度として9年間で重点的に取り組む施策を分野横断的に抽出し構成したものです。また、推進エンジンについても各施策とは同列ではなく、分野横断的に横車を刺す役割になっています。しかし、同列と見えるという意見については真摯に受け止め、今後の広報や周知の際には留意します。	企画政策課	意見	×	×	既に対応済のため
201	事前・第1回	その他	荒井	-	-	令和4年11月14日の第1回小田原市総合計画審議会の場において、第6次小田原市総合計画審議会の評価方法についての議事があり、その中で目標達成率の計算方法に関して、【目標達成率=(実績値-基準値)/(目標値-基準値)×100】とするのとことであったが、「目標達成率」に関し、上記計算方法に基づき計算し、「マイナス」となっている場合でも「0%」と表記され、進捗がなかった場合においても「0%」と表記されている。両者は「目標達成率」という視点からすると、異なることとなるが、同じ「0%」と表記するのは、達成度合いを把握するのが難しくなることから、表記方法をご検討してはいかがか。	単純に%で計算すると、0~100の範囲ではなく、-200%や300%などの表記もありますが、目標としては達成したらゴールであるため上限値を100%、下限値を0%と判断し、表現しています。	企画政策課	意見	×	×	既に対応済のため

総合計画審議会委員からの意見に対する市の対応方針(案)

No.	発言方法	該当項目	委員名	該当箇所	該当箇所 (詳細)	委員意見	市の考え方・対応方針(案)	担当所管	分類	内部評価 を修正	総計審意見	反映ページ×とした理由
202	事前	その他	佐藤	-	-	コロナ禍が明けたことを加味し、一部の目標値を引き上げて良いのではないかと。観光など人々の流動に関わることは目標値達成に近いものが多いと感じている。コロナ禍が明け、流動が活発になったことと円安などが要因にあると思うので、全体的に目標値を引き上げて良いのでは。	昨年度の実績値は、コロナ禍からフェーズが変わったものであることが予想され、今後も高評価が経常的に続くのか今の段階では判断しかねます。そのため、もう少し様子を見た上で、目標値を修正するかどうかを検討したいと思っています。	企画政策課	意見	×	×	KPI・目標に関する ことのため
203	事前	その他	鈴木	-	-	KPI実績値や目標達成率などの数字や総合評価の(A~D)として表しているのはわかりやすいが、現在数値で表されているKPIが評価との関係が薄いものもあるように思われる。また自然環境の影響を受けやすい部門は目標値に届かなくても職員の努力だけではどうにもならない。そういうことも考慮しないとけない。	本評価方法は、定量と定性を合わせた総合評価という形で実施しています。総合評価における記載内容については、可能な範囲でKPIとの関連も含めた表記となるよう修正します。	企画政策課	意見	○	○	-
204	事前	その他	有賀	-	-	R5年度の主な事業の予算額が広報おだわら5月号に掲載されており、国の補助金などの活用で過去最大の予算規模となっていた。小田原を創造していくための予算編成とあったが、税金の使い道として、市民にとって本当に必要な予算であるのか。「給食無償化」や「18歳までの医療費無料化」など、大型再開発より暮らしや福祉の充実のための予算編成が求められているのではないかと。	※会議後意見において、別途提出された(No.123、No.141)ことから本項目はの回答はいたしません。	企画政策課	その他	-	-	-
205	事前	その他	出石	-	-	KPIの基準年がコロナまん延下(R2~R4年度)となっている場合、かなり特殊な数値となっているものもあると思われる。実績値や目標値の客観的な評価をするためにも、コロナ禍直前(例えば令和元年度)の数値も参考に示したほうが良いのではないかと。	KPIについては、策定時においてコロナ禍の影響等も考慮して基準値(基準年)を設定していることから、設定した基準値と目標値、令和4年度実績値を比較したうえで目標達成率を計算し、定量的な判断を実施しています。今年度の評価を踏まえ、評価方法の変更やコロナ禍直前の数値を全てのKPIにおいて必要であるという主旨のご意見が総合計画審議会意見として出された際には検討します。	企画政策課	意見	-	-	当日議論
206	事前	その他	出石	-	-	主観を問うアンケート結果を用いているKPIの実績値は必ずしも目標に対する結果を反映しないのではないかと。アンケートの精度についてどう考えるか。	市民意識調査については、統計学上必要とされる信頼度と誤差を設定したうえで配布数を3000とし、国の統計調査基準で求められる数値を上回る回答数を得ているため、主観ではあるものの精度は高いと考えています。	企画政策課	質問	-	×	質問であるため
207	事前・ 第1回	その他	奥	-	-	資料3における評価では、「D」となったものはひとつもなかったが、「C」と評価されている詳細施策のなかでも特に基準値を下回っており、目標値に照らして0%の進捗となっているものについては、「D」となってもおかしくないものがあるのではないかと。また、B、C、Dの境界線が明確ではなく、定性的な要素も加味しての所管課による評価になっていることから、全体を通しては評価の統一性が必ずしも確保できていない印象がある。	定量的な数値のみで判断すると、数値的には伸びていない、もしくは基準値より下がっているものもありますが、本評価方法は、定量と定性を合わせた総合評価という形で実施しています。	企画政策課	意見	×	○	-
208	事前	その他	奥	-	-	施策・詳細施策における取組内容や総合評価においては、KPIを意識した記述が求められる。	今年度については、総合評価の記載方法を可能な範囲でご指摘のとおり修正します。また、来年度以降は、内部評価の段階でご指摘の内容を反映できる体制を整えます。	企画政策課	意見	○	○	-
209	第1回	その他	出石	-	-	今回の内部評価を見ると、ひたすら文章になっており、少し頭に入りにくい。「施策・詳細施策」の取組内容は箇条書きの方が良いのではないかと。また、総合評価は「うまくいっている点」「うまくいっていない点」「A~D評価に対する今後の対応策」などと項目を分けると内部評価の仕方もクリアになってくるのではないかと。	今回の内部評価については、昨年度の審議会を経た方法や様式に従い作成しています。昨年度の時点では、実際の文章や数値等が入っていませんでしたので、今年度の評価を踏まえ、評価方法の変更が必要であるという主旨のご意見が総合計画審議会意見として出された際には検討します。	企画政策課	意見	-	-	当日議論